

公共施設についてみんなで話し合おう！

公共施設マネジメント 意見交換会

入間市総務部
公共施設マネジメント推進課

1. 公共施設マネジメントとは
2. 取り組みの方向性
3. 公共施設マネジメント事業計画
4. 計画策定のあり方
5. 意見交換会

1. 公共施設マネジメントとは



①施設系 = ハコモノ

小中学校、公民館、図書館、市役所 等

②インフラ系

道路、公園、橋、上下水道

③プラント系

クリーンセンター、斎場、浄水場、
最終処分場



50年前

高度経済成長



老朽化

今

鉄筋コンクリート造
の寿命

約50～60年

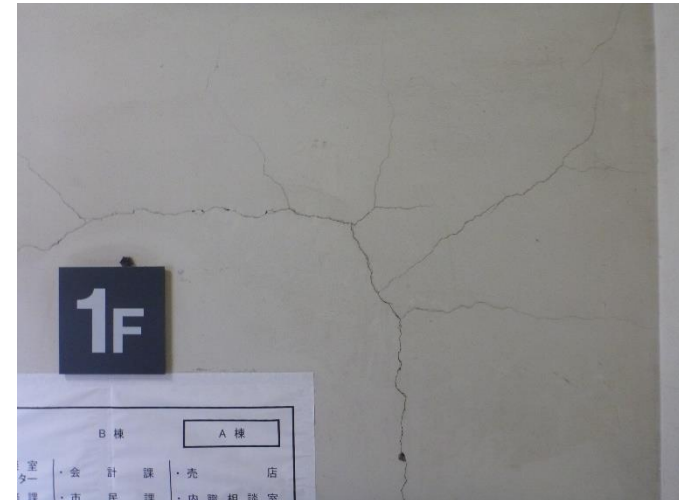


将来

- すべての公共施設の**寿命**は日に日に近づいている
- 寿命を迎えようとしている施設をできる限り工夫して、長く使うことを検討



▲雨漏り



▲建物のヒビ



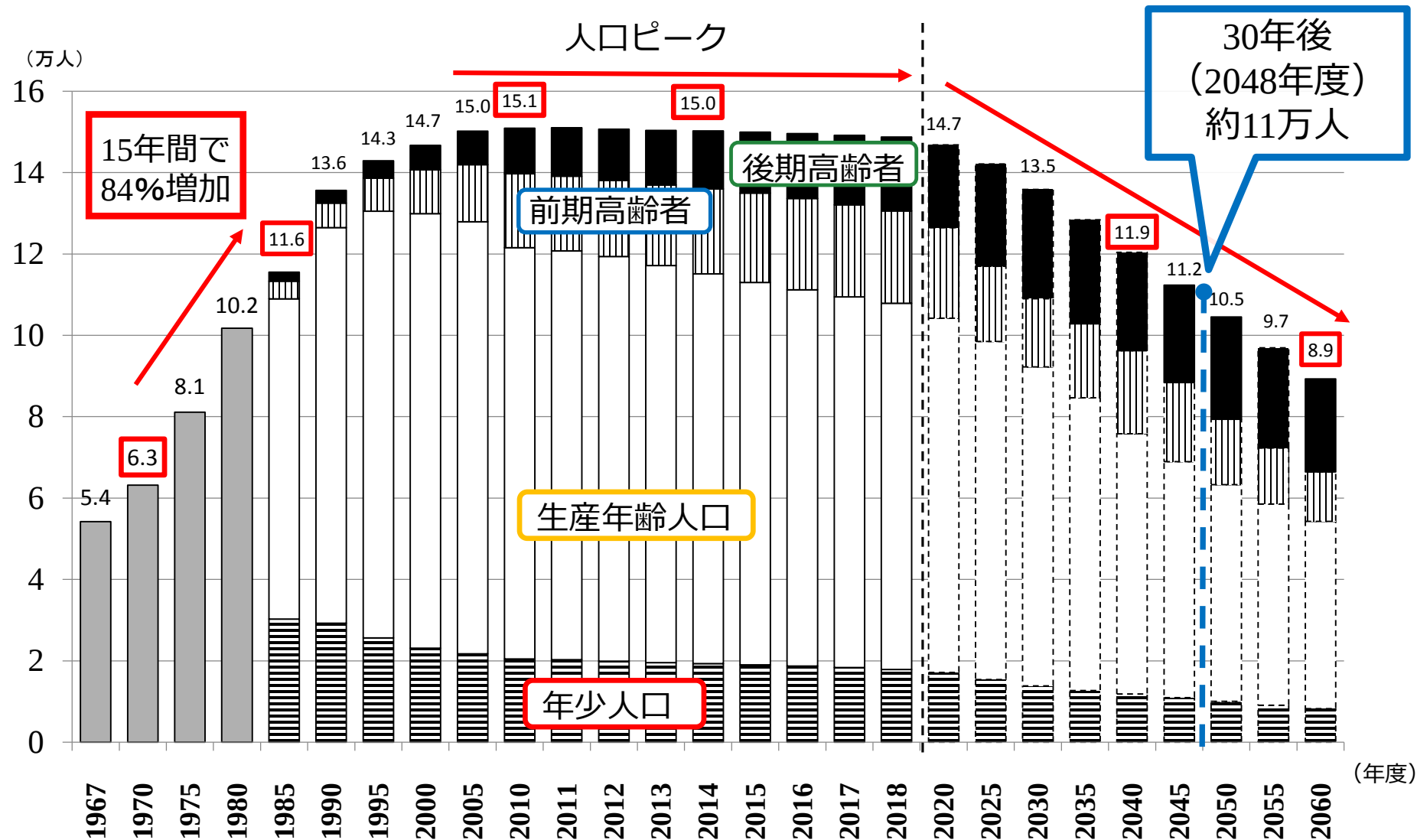
▲配管類の腐食

- 施設の傷みが進行
 - 不具合が発生
- ⇒修繕に多額の費用

なぜ、
公共施設マネジメントに
取り組むのか

1. 公共施設マネジメントとは 取り組みの背景（人口減少、少子化・高齢化①）

8



- 2010年度をピークに人口が減少している
- 2040年度には約12万人、2060年度には約9万人の見込み

〔人口・年齢構成の推移〕

	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	合 計
昭和60(1985)年	30,292人 (26.2%)	78,669人 (68.1%)	6,545人 (5.7%)	115,506人
平成27(2015)年	19,016人 (12.7%)	93,990人 (62.7%)	36,946人 (24.6%)	149,952人
平成30(2018)年	17,906人 (12.0%)	89,952人 (60.1%)	41,865人 (28.0%)	148,723人
平成57(2045)年	10,976人 (9.8%)	57,972人 (51.6%)	43,367人 (38.6%)	112,315人

30年

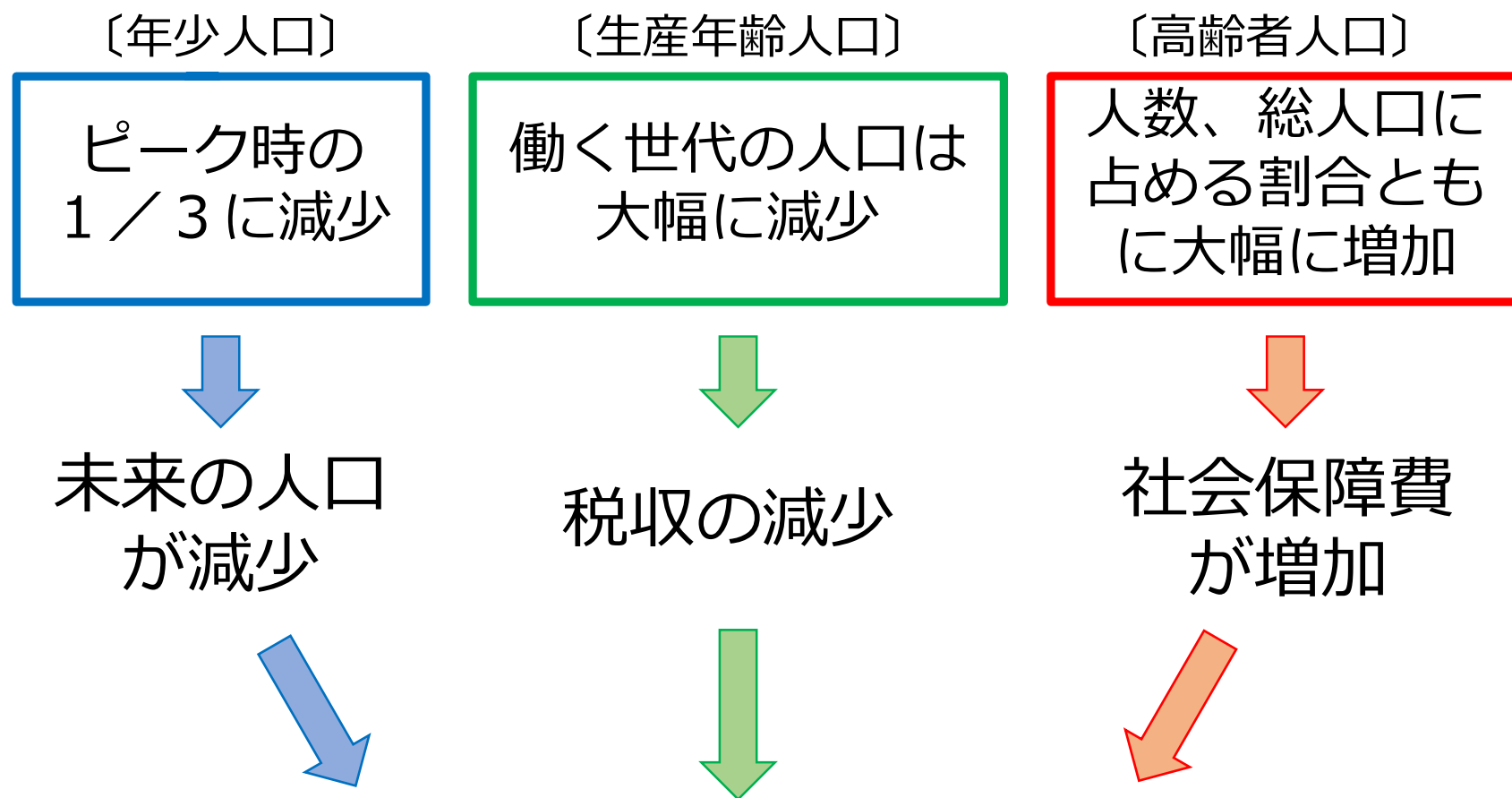
現在

30年

ピーク時の
1 / 3 に減少

働く世代の人口は
大幅に減少

人数、総人口に
占める割合とも
に大幅に増加



➤ 30年後を見据えたサービスの見直しが必要

求められているサービス

教育環境の向上

保育環境の充実

生きがいづくり

健康づくり

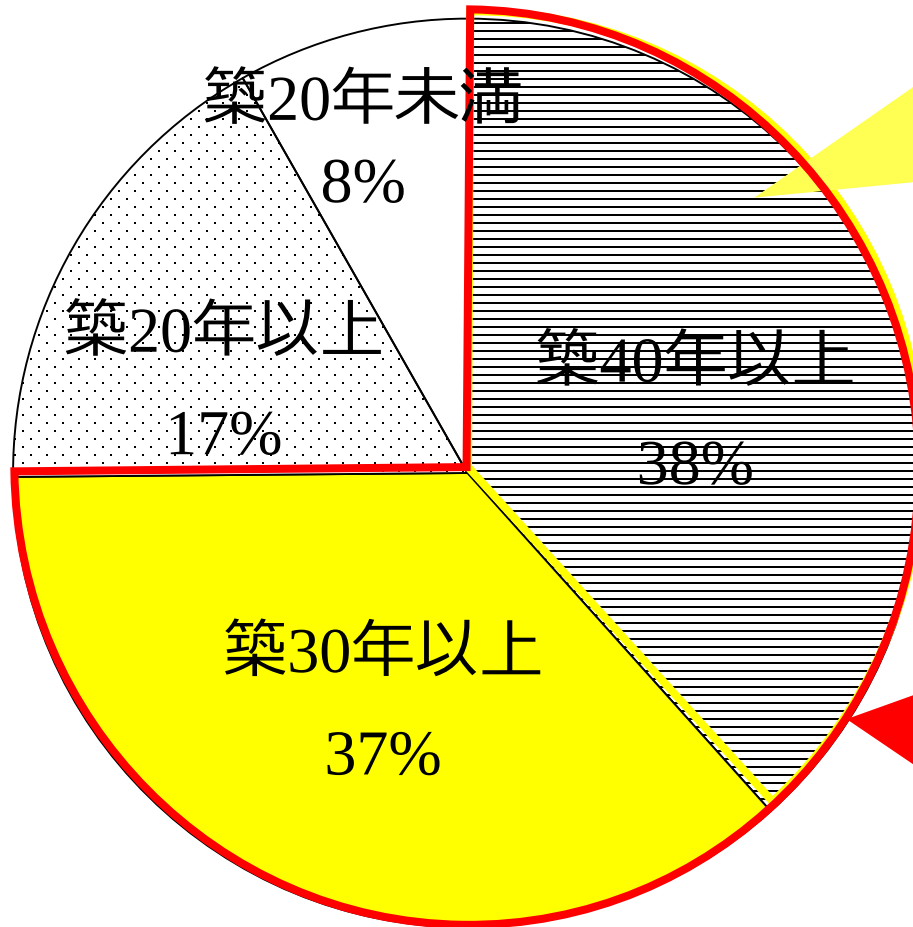
地域コミュニティの拠点

ユニバーサルデザイン

バリアフリー



- 社会情勢の変化を踏まえて
求められる機能の変化に対応した施設



築40年以上経つ
公共施設が
約4割

築30年以上経つ
公共施設は
7割以上

- 「壊れたら直す」を続けると**財政破綻**
- 単なる老朽化問題ではなく、市の存続を懸けた問題

市民1人当たりの個人住民税では・・・

①約96.6億円（平成28年度収入済額）

②149,292人（平成28年4月1日人口）

$$\text{①} \div \text{②} = 64,720\text{円}$$

30年後の人口を11万人として試算すると

$$64,720\text{円} \times 110,000\text{人} = \text{約}71.2\text{億円}$$

⇒約25.4億円減少

【行政改革】

人口減少社会に対応し、本市を取り巻く環境の変化を踏まえた、新たな視点にもとづく行政運営を実現するための取組

- (1) サービスの最適化
- (2) 公共施設の最適化
- (3) 担い手の最適化
- (4) 事務事業の最適化
- (5) 組織機構の最適化

〔これまでの取組〕

- ・ 公有財産の有効活用や有料広告の充実による歳入確保
- ・ 事務の効率化や職員の削減による歳出抑制

など

平成28年度効果額

21億4330万円

【まち・ひと・しごと創生総合戦略】

人口減少に歯止めをかけ、将来に渡って
活力ある社会を維持していくための取組

- (1) 働きやすいまちをつくる
- (2) ずっと住みたいまちをつくる
- (3) 子どもの育ちを支える
- (4) まちの魅力を活かす

2. 取り組みの方向性



- ✓ 施設のサービス内容と機能を見直す
- ✓ 公共施設の整備・運営の適正化
- ✓ 近隣自治体との連携
- ✓ 跡地活用・売却や貸付による有効活用
- ✓ 施設の維持管理の効率化

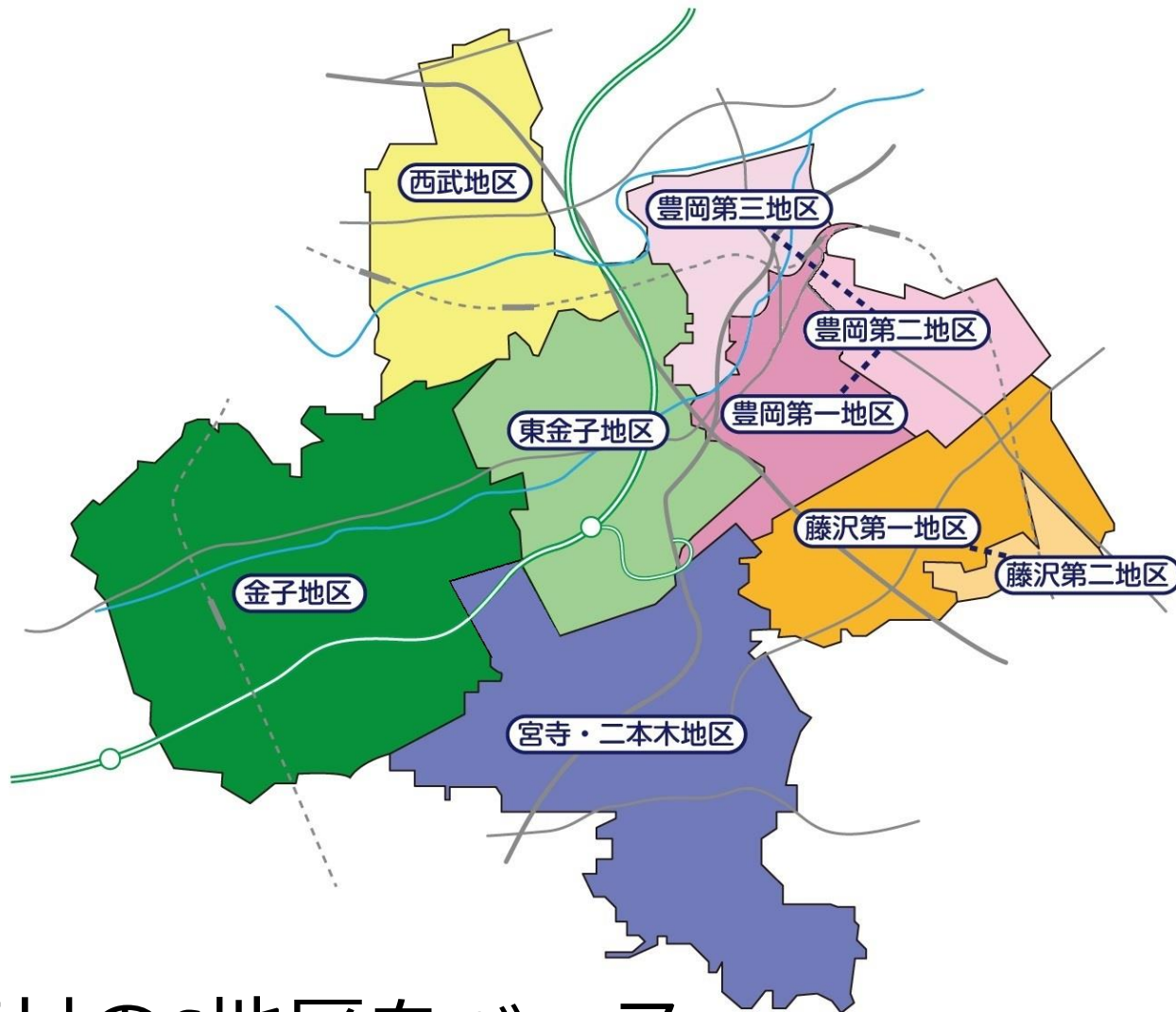
〔サービスの見直し〕

- ・ 人口減少、人口構成の変化への対応
- ・ 求められるサービスの変化への対応
- ・ 「選択と集中」による優先順位の検討

〔施設の数や面積を減らす〕

- ・ 施設を維持管理する費用の確保が困難
(人件費、光熱水費、修繕費、保守点検費、改修改築費 など)
- ・ 人口減少に伴い施設の余剰が発生
- ・ 様々な施設の利用率の低下

- ✓ 地区特性に配慮して再整備・再配置を検討
- ✓ 地域間の偏りの解消
- ✓ できる限り今ある施設を活用・長寿命化の検討
- ✓ 借地の解消
- ✓ 利用促進につながるような施設のサービスや機能の見直し
- ✓ 廃止施設の有効利用



- 旧町村の6地区をベース
- 人口バランスを考え9地区で検討

3. 公共施設マネジメント 事業計画



- ✓ 便利な日常生活
- ✓ 元気な地域
- ✓ 地域の生活を支える
- ✓ 建設や維持管理の費用を抑える

入間市内に一つしかない施設で、全市民が利用する、
あるいは全市民のために存在する施設

庁舎

市役所

公民館

市民会館（中央公民館）

スポーツ施設

市民体育館（武道場・弓道場） 武道館

教育施設

学校給食センター

文化施設

市民会館 産業文化センター
文化創造アトリエ

集会施設

市民活動センター 青少年活動センター
(男女共同参画推進センター)

図書館

図書館本館

入間市内に一つしかない施設で、全市民が利用する、
あるいは全市民のために存在する施設

児童センター

児童センター

福祉施設

老人福祉センター 障害者活動センター
扇台福祉作業所

博物館

博物館

保養系施設

農業研修センター 農村環境改善センター

産業系施設

勤労福祉センター

保健施設

健康福祉センター

その他

入間市駅南口自転車駐車場 防災センター
総合クリーンセンター・リサイクルプラザ

○民間活力の導入

- ・ 指定管理方式
- ・ 包括的管理運営委託
- ・ リース方式
- ・ P F I 方式

○広域連携

- ・ 相互利用
- ・ 共同利用
- ・ 共同運営
- ・ 共同設置

入間市役所（豊岡1-16-1） ※A・B棟のみ	
竣工	昭和49年3月（築44年）
延床面積（㎡）	11,487
構造（主たる建物）	鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）造
構造耐震指標 Is値(最低値)	0.25

耐震化推進計画と連動！



●行政運営の拠点として必要な施設

- 早急な**耐震化**が必要
 - 災害時に**復興拠点としての役割を果たせない可能性大**
 - 社会情勢や市民ニーズに**非対応**
 - 建物全体の作りが**非効率**
 - **老朽化（築40年以上）**が進んでいる
- ⇒市の将来を見据えた効率の良い施設整備を検討

市民会館・中央公民館（豊岡3-10-10）	
竣工	昭和48年5月（築45年）
延床面積（㎡）	5,777
構造（主たる建物）	鉄筋コンクリート（RC造）
構造耐震指標 Is値(最低値)	0.24

耐震化推進計画と連動！



●市民の文化活動の拠点として必要な施設

- 早急な**耐震化**が必要
- **老朽化（築40年以上）**が進んでいる

構造耐震指標Is値

建物の耐震性能を表す指標 数値
が**大きければ**耐震性が**高い**と判断
される

$Is < 0.3$	倒壊し、又は崩壊する危険性が高い
$0.3 \leq Is < 0.6$	倒壊し、又は崩壊する危険性がある
$0.6 \leq Is$	倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

コミュニティごとに配置され、施設が所在している
地域の市民が主に利用する施設

公民館

(1) 公民館は地区センター
→9地区に1施設ずつ

小学校

学童保育室

(2) 小学校は学童保育室や
図書館分館と複合化
→9地区に1校ずつ

図書館分館

中学校

保育所

(3) 保育所は6地区に1施設ずつ

地区体育館

(4) そのほか状況を見て判断

老人憩いの家

住民の暮らしを支える地域の拠点施設

【他市事例】 静岡県富士市まちづくりセンター

- (1)地域まちづくり活動、防災拠点
- (2)地区社会教育事業の実施
- (3)地区住民と行政とのパイプ役
- (4)市民サービスコーナー業務

支所

公民館

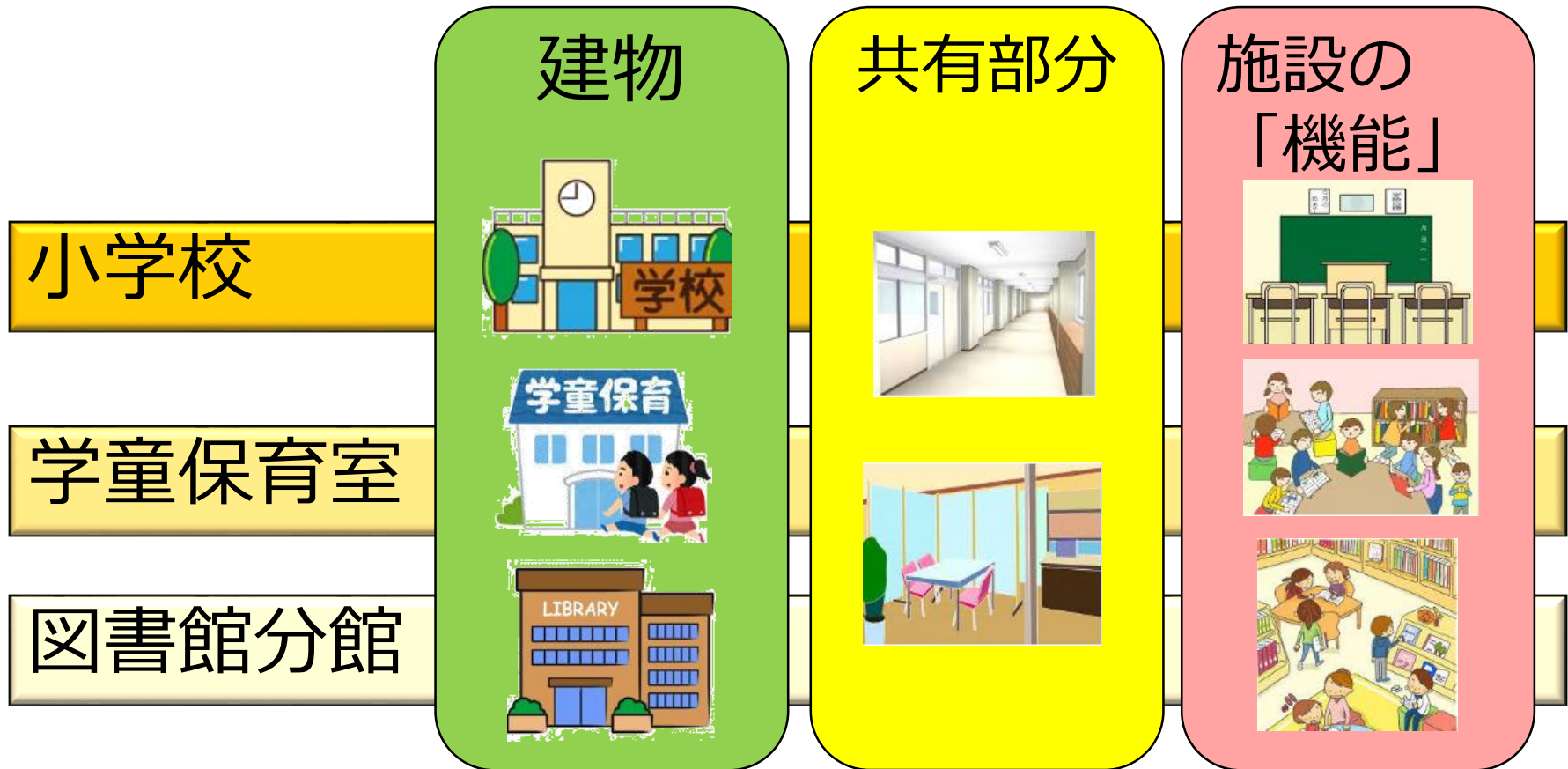
自治振興支援

防災拠点

福祉総合相談窓口

地域包括支援センター

➤ 現在の公民館の建物を活用して設置



- 各施設にある廊下や会議室などを共有することで施設面積を減らせる

		豊岡第一	豊岡第二	豊岡第三	東金子	金子	一本木宮寺	藤沢第一	藤沢第二	西武	計
現在	公民館	2	1	2	1	1	2	2	1	1	13
	中学校	1	2	1	1	1	1	1	1	2	11
	地区体育館			1	1		1	1		1	5
	老人憩いの家	3	2	6	7	8	12	5	2	4	49



30年後	地区センター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	中学校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	地区体育館			1	1		1	1		1	5
	老人憩いの家	利用の状況を踏まえて検討									

- 地区に複数ある公共施設を1箇所ずつ設置
- 利用状況を踏まえて施設の方向性を検討

		豊岡第一	豊岡第二	豊岡第三	東金子	金子	一本木宮寺	藤沢第一	藤沢第二	西武	計
現在	小学校	1	2	2	2	1	2	2	2	2	16
	学童保育室	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18
	図書館(分館)					1	※	1		1	3



※配本所(宮寺公民館内)

30年後	小学校	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	学童保育室	小学校へ複合化									
	図書館(分館)										

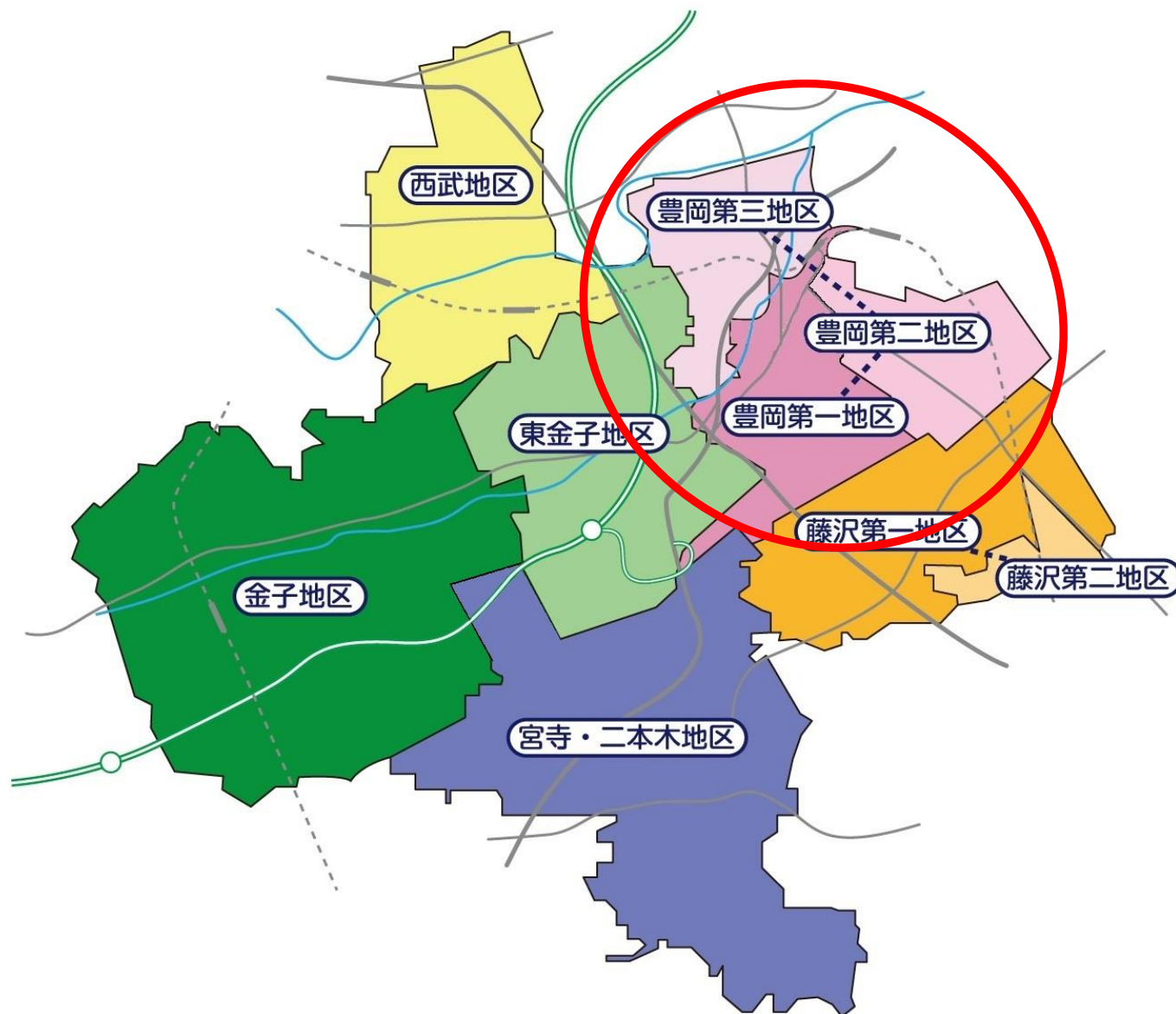
- 小・中学校は9地区に1校ずつ設置
- 小学校へ学童保育室や図書館を複合化
- 学区の見直しやスクールバスの検討

		豊岡第一	豊岡第二	豊岡第三	東金子	金子	一本木宮寺	藤沢第一	藤沢第二	西武	計
現在	公立保育所	1		2	1	2	2	1	1	1	11
	民間保育園	1	3	3	2		1	4		1	15
	民間幼稚園	1			1	1		3	1	2	9



30年後	公立保育所	1			1	1	1	1		1	6
	民間保育園	1	3	3	2		1	4		1	15
	民間幼稚園	1			1	1		3	1	2	9

- 民間とのバランスを考慮し、6地区に1施設ずつ設置
- 保育ニーズに応じた機能の充実を検討
- 今後の年少人口の推移や待機児童の問題も踏まえて施設の規模等を検討



3. 公共施設マネジメント事業計画 豊岡地区 公民館

入間市防災マップ
<豊岡地区>

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。

災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

平成29年4月 入間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
中央公民館	1973	45
扇町屋公民館	1985	33
久保稲荷公民館	1991	27
東町公民館	1979	39
黒須公民館	1969	49
高倉公民館	1977	41

多くの公民館が
築30年以上
経過している

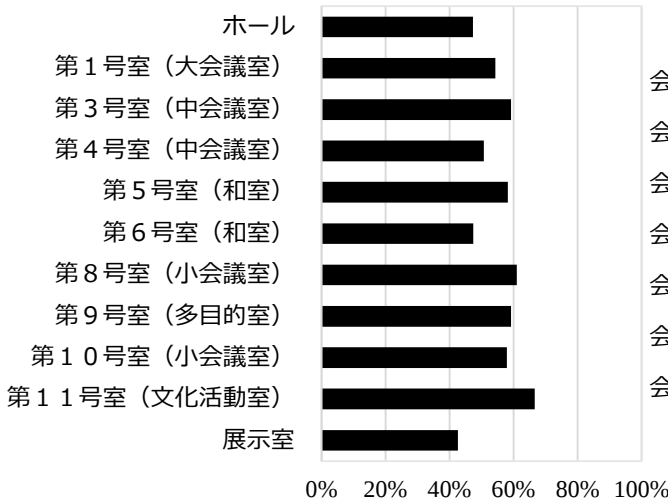
➤ 5館ある公民館を3館に統合

3. 公共施設マネジメント事業計画 豊岡地区 各公民館稼働率

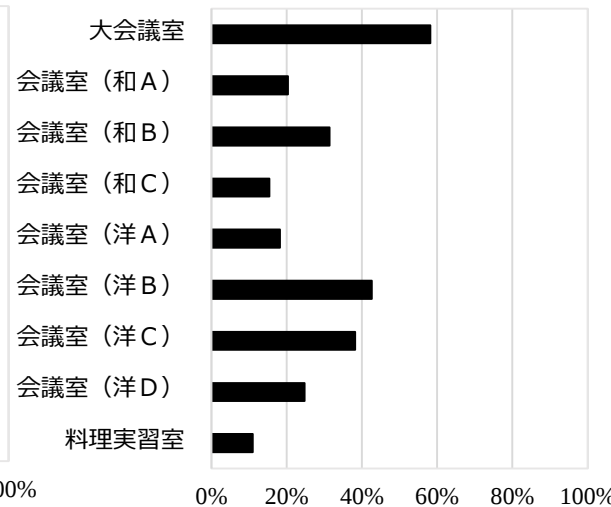
36



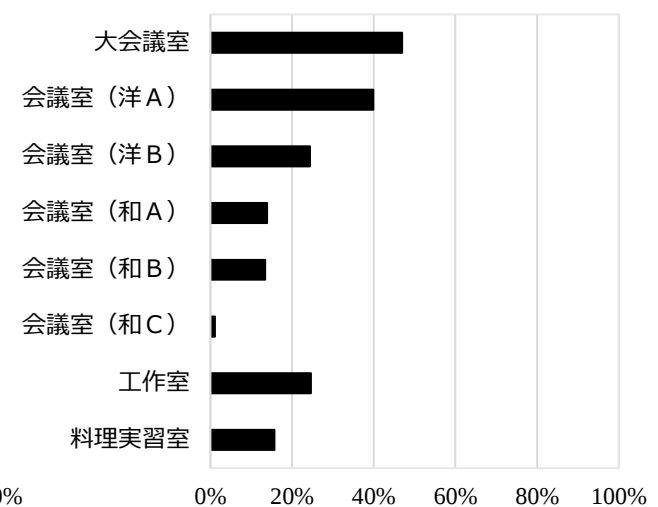
市民会館・中央公民館



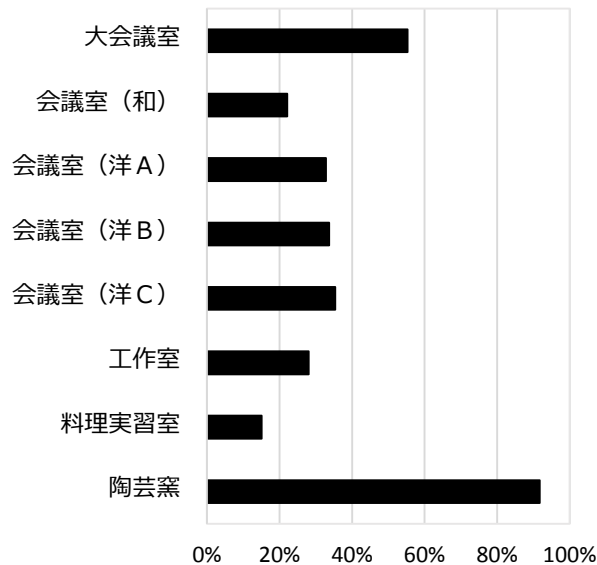
扇町屋公民館



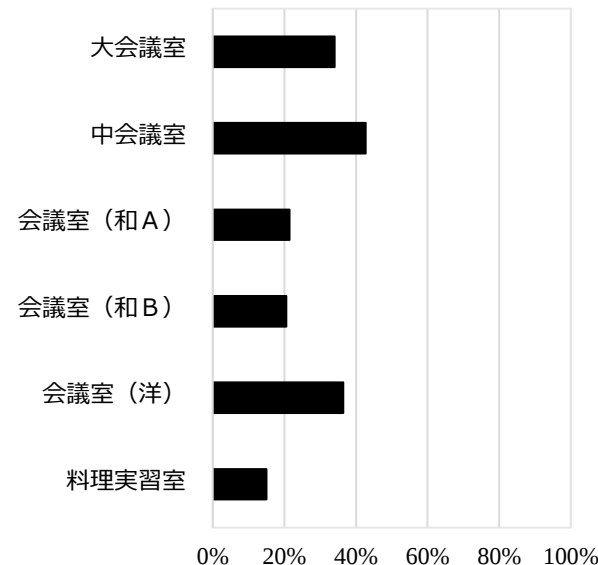
久保稻荷公民館



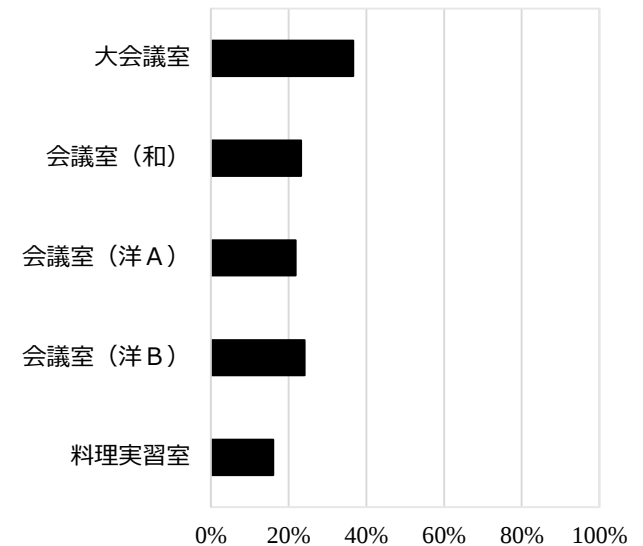
東町公民館



黒須公民館



高倉公民館



〔学級数・児童数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	児童数 (学区内住民数)
扇小学校	26	879	27	823	22	785	782
豊岡小学校	19	613	21	583	14	396	375
東町小学校	18	574	17	476	15	459	384
黒須小学校	16	503	15	434	13	427	474
高倉小学校	13	416	14	355	11	297	281

〔平成30年度 学年別学級数・児童数〕

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
扇小学校	4	127	4	142	3	118	4	146	4	135	3	117
豊岡小学校	2	60	3	72	2	55	2	65	2	56	3	88
東町小学校	3	73	3	85	2	75	3	85	2	71	2	70
黒須小学校	2	65	3	78	2	62	2	73	2	81	2	68
高倉小学校	2	48	1	36	2	52	2	57	2	47	2	57

- 「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」に照らし合わせると高倉小学校は適正規模を下回っている

〔学級数・生徒数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度	平成40年度
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	生徒数 (学区内住民数)	生徒数 (学区内住民数)
向原中学校	16	591	16	566	14	525	438	414
豊岡中学校	13	476	15	434	11	374	286	258
東町中学校	10	328	9	254	7	224	345	294
黒須中学校	10	349	9	293	8	285	277	319

〔平成30年度 学年別学級数・生徒数〕

	1年生		2年生		3年生	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
向原中学校	5	188	4	149	5	188
豊岡中学校	3	107	4	127	4	140
東町中学校	2	68	2	63	3	93
黒須中学校	3	99	2	81	3	105

本市における小中学校の適正規模は、小学校が各学年2学級から3学級（全学年合計12学級～18学級）、中学校は全教科必要教員が確保される全学年合計10学級～18学級とする。

入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針（平成26年4月1日 入間市教育委員会）

- 「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」に照らし合わせると東町中学校、黒須中学校は適正規模を下回っている

3. 公共施設マネジメント事業計画 豊岡地区 小学校・学童保育室

入間市防災マップ
<豊岡地区>

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。

災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

平成29年4月 入間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
扇小学校	1974	44
豊岡小学校	1983	35
東町小学校	1980	38
黒須小学校	1972	46
高倉小学校	1984	34
扇学童保育室	1989	29
扇第二学童保育室	1989	29
豊岡学童保育室	1984以前	34以上
東町学童保育室	1980	38
黒須学童保育室	1994	24
高倉学童保育室	1984以前	34以上

- 6施設ある学童保育室を3施設に統合
- 5校ある小学校を3校に統合し、学童保育室を複合化

3. 公共施設マネジメント事業計画 豊岡地区 中学校

入間市防災マップ
<豊岡地区>

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。

災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

平成29年4月 入間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
向原中学校	1977	41
豊岡中学校	1984	34
東町中学校	1987	31
黒須中学校	1979	39

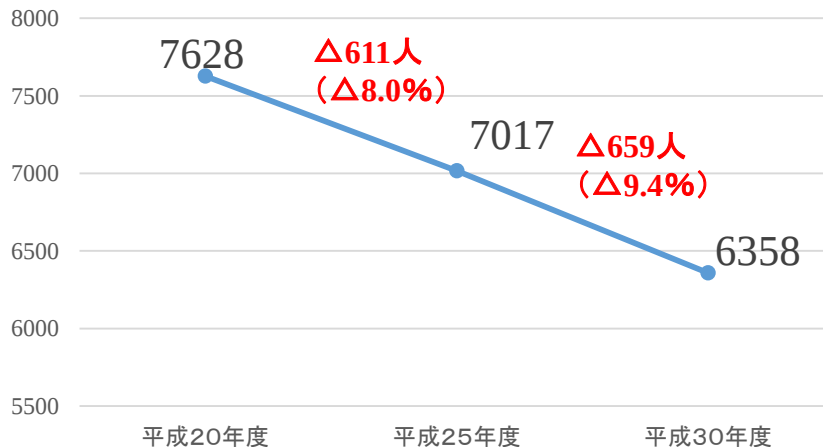
すべての中学校が
築30年以上
経過している

➤ 4校ある中学校を3校に統合

〔豊岡地区 園児数推移〕

公立保育所	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
豊岡保育所	144	137	109(150)
黒須保育所	86	79	73(90)
高倉保育所	72	50	60(90)

〔入間市 0～5歳児人口推移〕



民間保育園	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
おおぎ保育園	123	128	133(120)
あけぼの保育園	114	116	121(120)
いるま保育園	136	130	136(120)
おおぎ第二保育園	69	62	69(60)
豊岡保育園	133	118	122(120)
しらさぎ保育園	87	92	91(90)
木の実保育園	25	28	54(69)

地域型保育施設	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
すくすく保育園※	-	-	17(19)
みつばち保育園※	-	-	17(19)

※地域型保育施設の認可は平成27年度以降

〔平成30年度 市内保育所等在籍者数〕

種 別	在籍者数
公立保育所	828
民間保育園	1,354
地域型保育施設	76
計	2,258

種 別	在籍者数
幼稚園 (平成29年度)	1,963

3. 公共施設マネジメント事業計画 豊岡地区 公立保育所

入間市防災マップ
<豊岡地区>

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。

災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

平成29年4月 入間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
豊岡保育所	1971	47
黒須保育所	1969	49
高倉保育所	1975	43

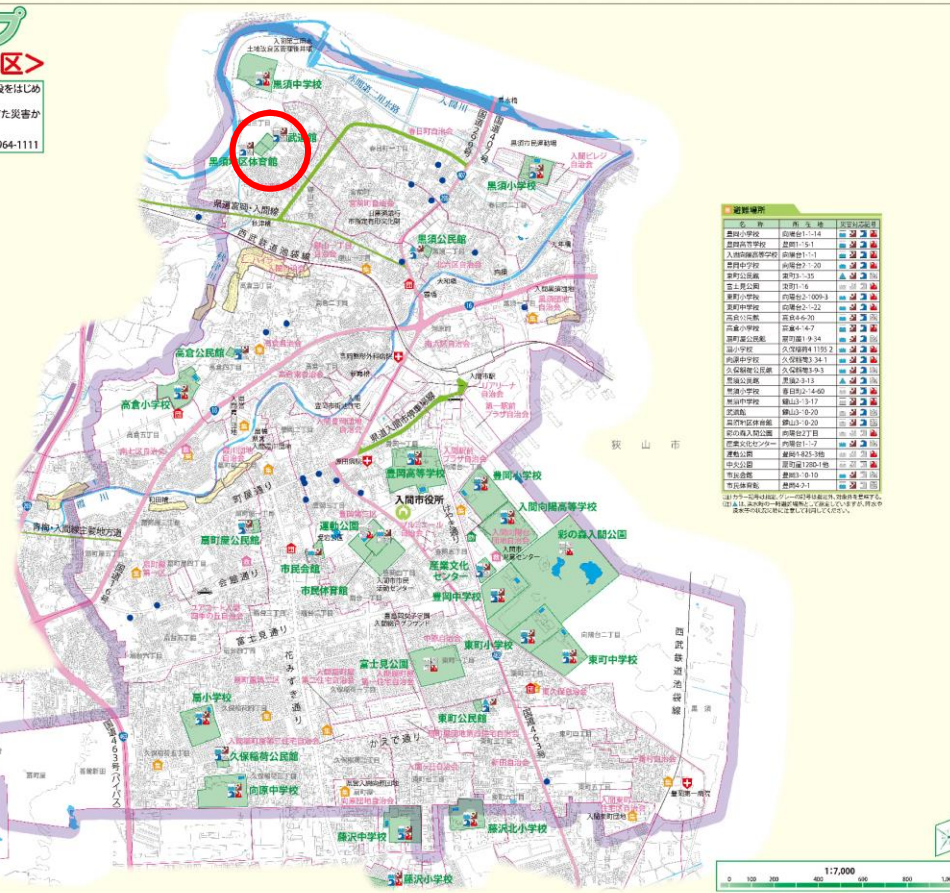
すべての保育所が
築40年以上
経過している

- 3所ある保育所1所に統合
- 保育所は旧市町村区分である6地区分で配置を検討

豊岡地区 体育館

<豊岡地区>

平成29年4月 入間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111



黒須体育館

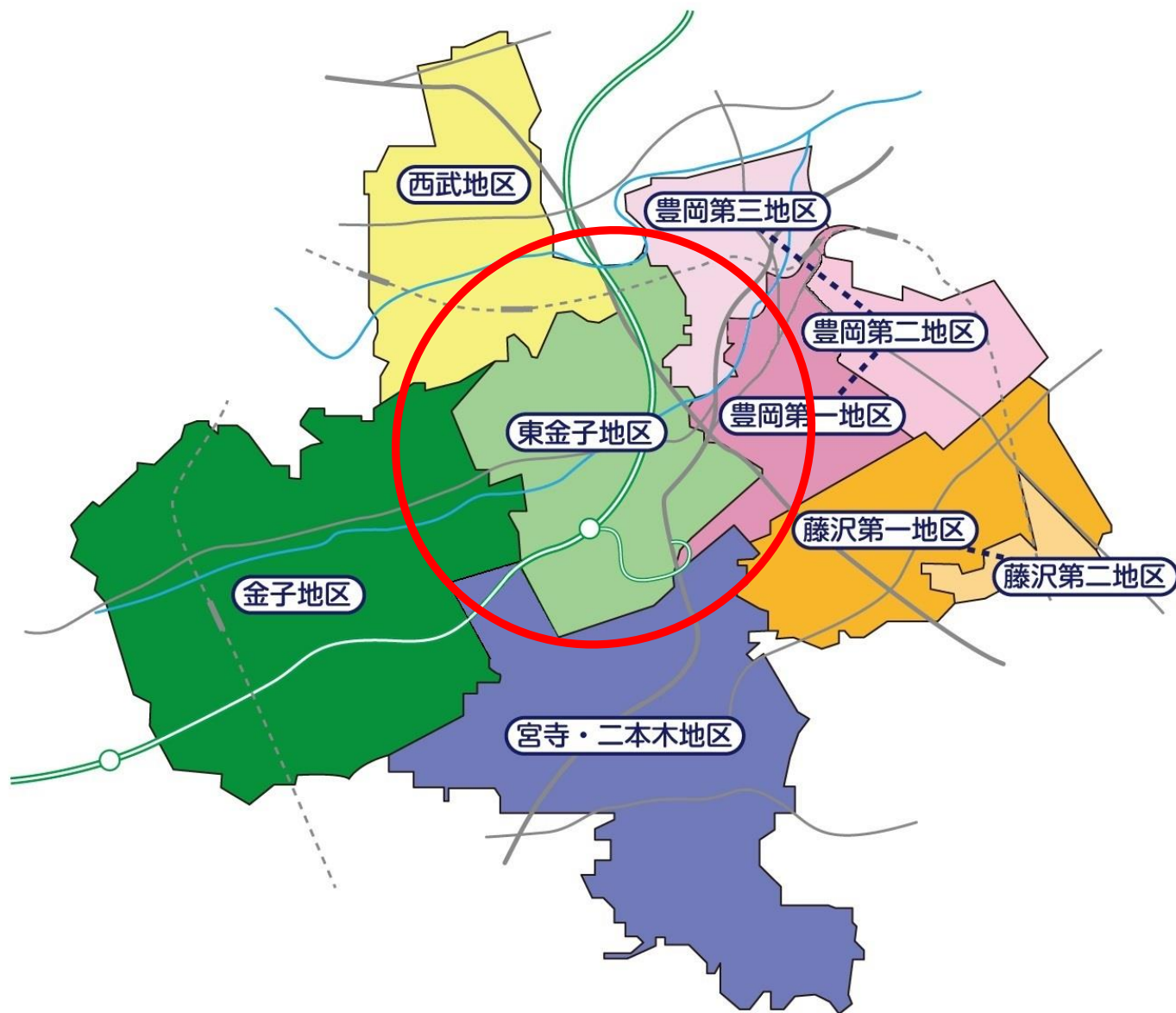
1990

28

➤ 継続して維持管理

施設名	建築年度	築年数	施設整備の方向性
扇町屋公民館	1985	33	1施設に統合、地区センター化 空いた施設の活用方法を検討
久保稻荷公民館	1991	27	
東町公民館	1979	39	地区センター化
黒須公民館	1969	49	1施設に統合、地区センター化 空いた施設の活用方法を検討
高倉公民館	1977	41	
扇小学校	1974	44	複合化
豊岡小学校	1983	35	1施設に統合、複合化 空いた施設の活用方法を検討
東町小学校	1980	38	
黒須小学校	1972	46	1施設に統合、複合化 空いた施設の活用方法を検討
高倉小学校	1984	34	
豊岡中学校	1984	34	1施設に統合
東町中学校	1987	31	

施設名	建築年度	築年数	施設整備の方向性
豊岡保育所	1971	47	1施設に統合 空いた施設の活用方法を検討
黒須保育所	1969	49	
高倉保育所	1975	43	
市役所	1974	44	建替え、耐震補強・大規模改修等の方法を検討
市民会館・中央公民館	1973	45	市役所の整備とあわせて検討



3. 公共施設マネジメント事業計画 東金子地区 公民館

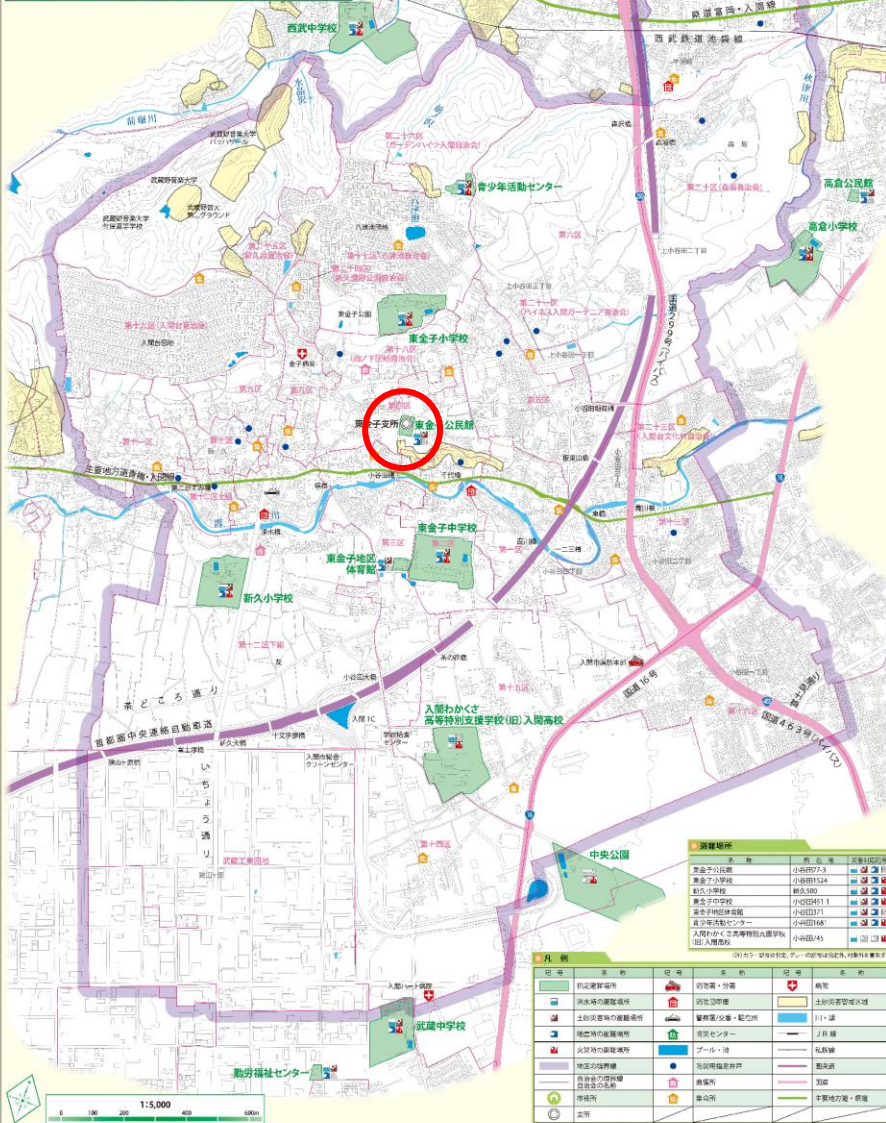
47

人間市防災マップ

<東金子地区>

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

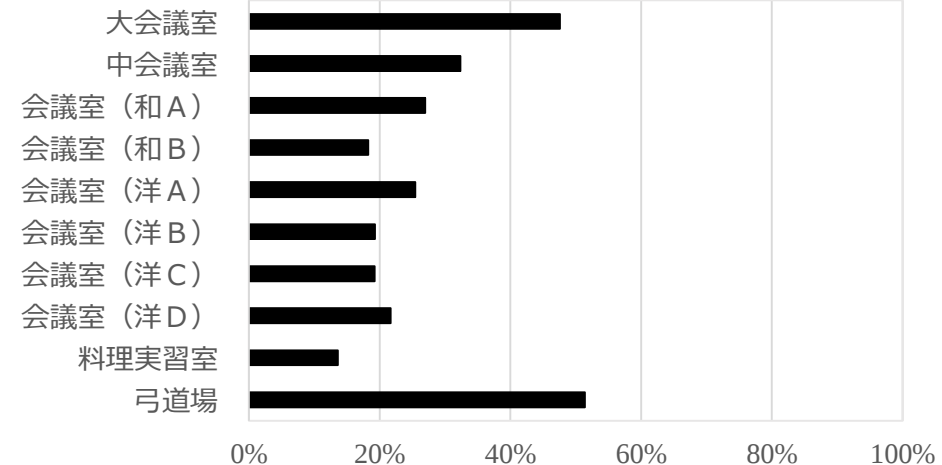
平成29年4月 人間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
東金子公民館	1984	34

築30年以上
経過している

東金子公民館



- 継続して維持管理
- 時期をみて
地区センター化

〔学級数・児童数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	児童数 (学区内住民数)
東金子小学校	12	412	14	343	12	331	261
新久小学校	12	297	12	305	11	270	225

〔平成30年度 学年別学級数・児童数〕

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
東金子小学校	2	46	2	56	2	54	2	55	2	66	2	54
新久小学校	1	29	2	36	2	46	2	55	2	48	2	56

本市における小中学校の適正規模は、小学校が各学年2学級から3学級（全学年合計12学級～18学級）、中学校は全教科必要教員が確保される全学年合計10学級～18学級とする。

入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針（平成26年4月1日 入間市教育委員会）

- 「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」に照らし合わせると新久小学校は適正規模を下回っている

〔学級数・生徒数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度	平成40年度
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	生徒数 (学区内住民数)	生徒数 (学区内住民数)
東金子中学校	10	405	11	359	9	321	307	243

〔平成30年度 学年別学級数・生徒数〕

	1年生		2年生		3年生	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
東金子中学校	3	104	3	108	3	109

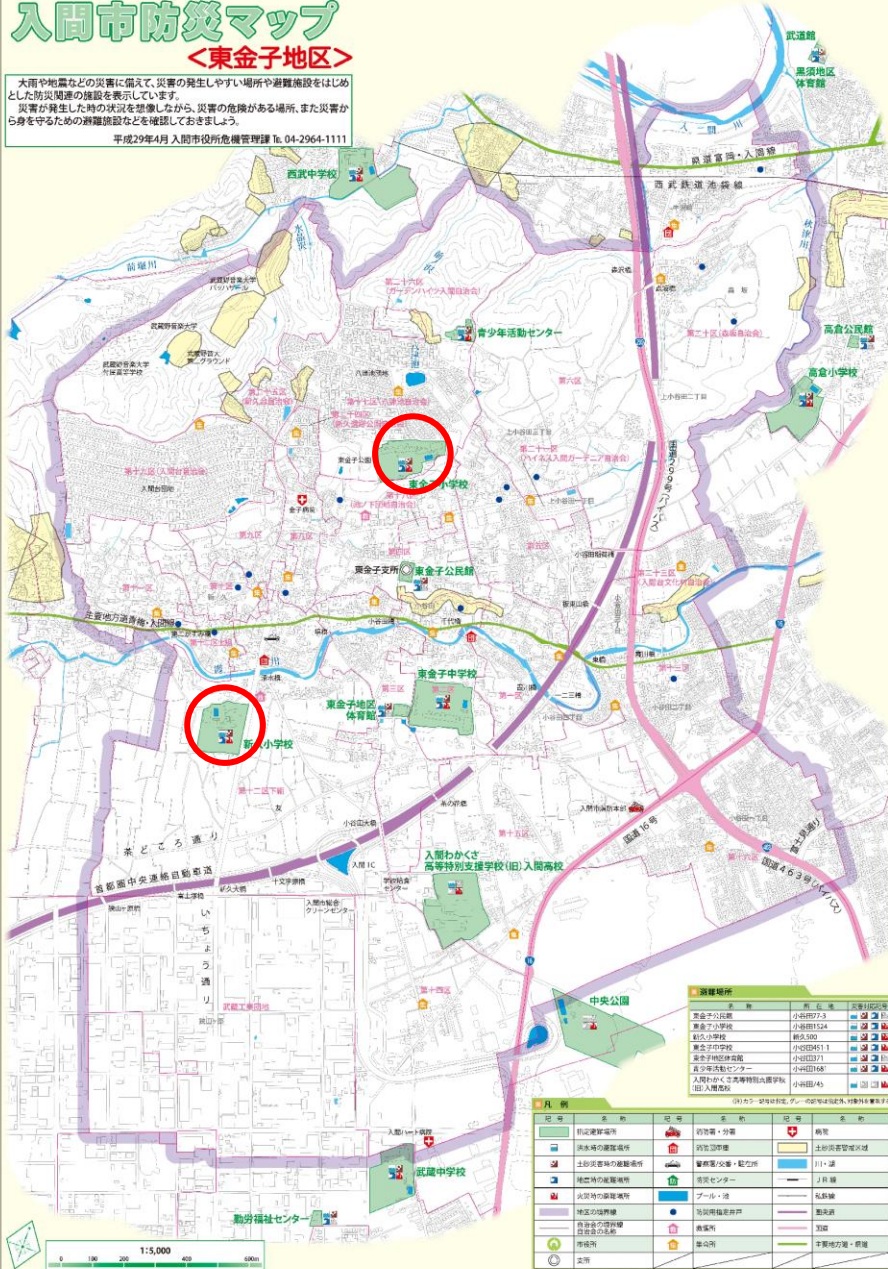
- 「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」に照らし合わせると東金子中学校は適正規模を下回っている

人間市防災マップ

<東金子地区>

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

平成29年4月 人間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
東金子小学校	1968	50
新久小学校	1980	38
東金子学童保育室	1981	37
新久学童保育室	1980	38

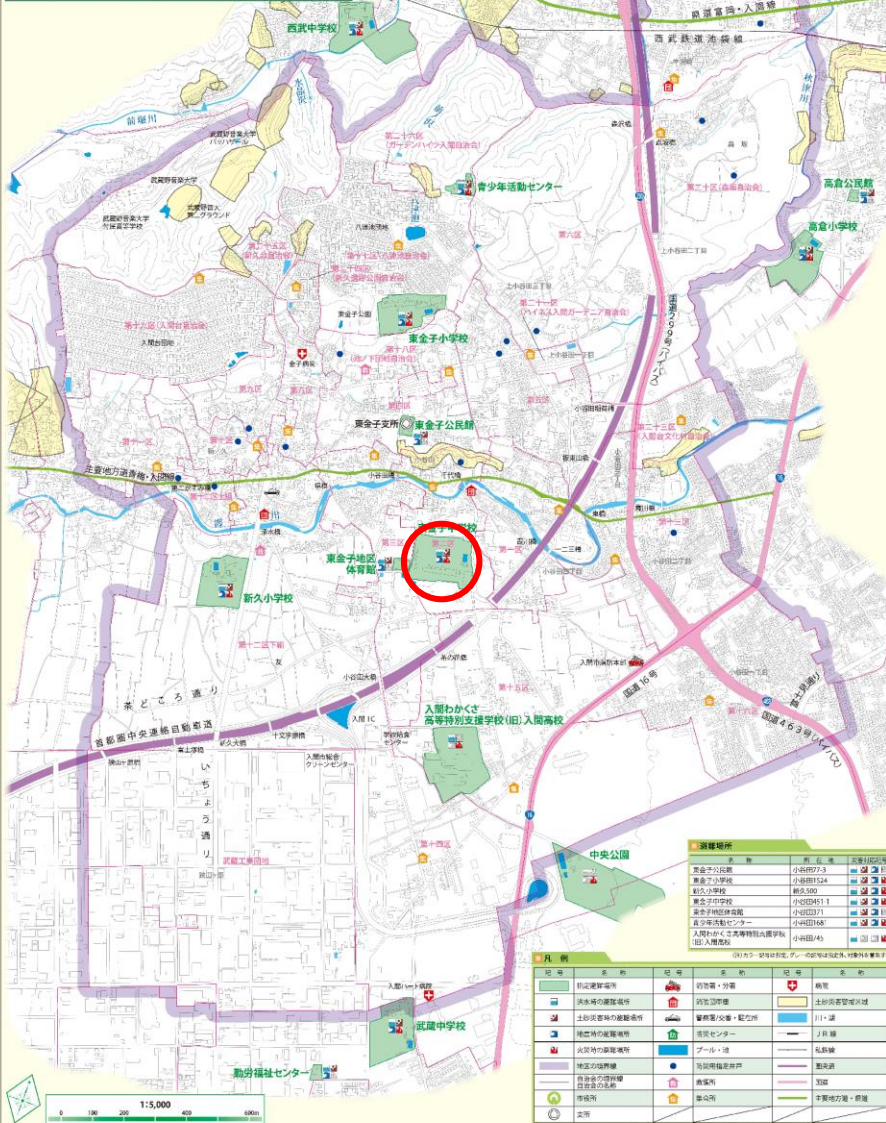
すべての施設が
築30年以上経過している

- 2施設ある学童保育室を1施設に統合
- 2校ある小学校を1校に統合し、学童保育室を複合化

人間市防災マップ ＜東金子地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

平成29年4月 人間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
東金子中学校	1982	36

築30年以上
経過している

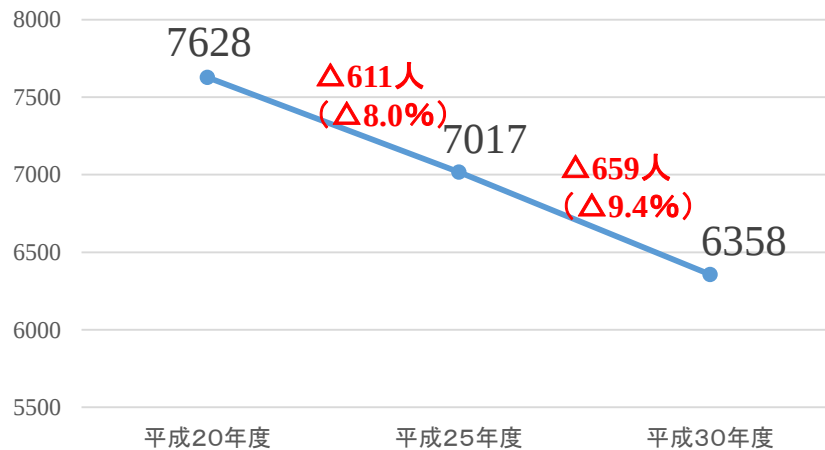
➤ 老朽化が進んでいることから建替えを検討

〔東金子地区 園児数推移〕

公立保育所	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
東金子保育所	82	77	65(90)

民間保育園	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
茶々保育園	133	126	135(120)
あけぼの保育園(分園)	31	29	28(29)

〔入間市 0～5歳児人口推移〕



〔平成30年度 市内保育所等在籍者数〕

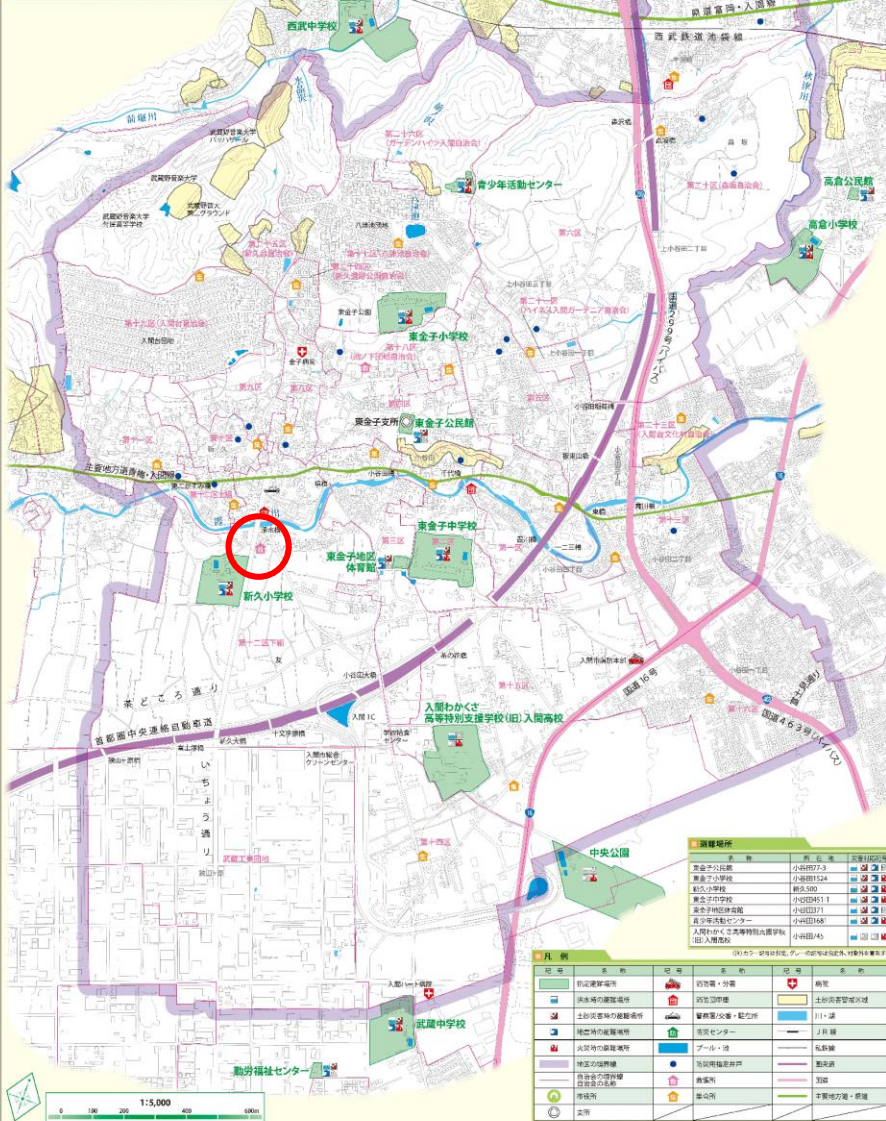
種 別	在籍者数
公立保育所	828
民間保育園	1,354
地域型保育施設	76
計	2,258

種 別	在籍者数
幼稚園 (平成29年度)	1,963

人間市防災マップ ＜東金子地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

平成29年4月 人間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



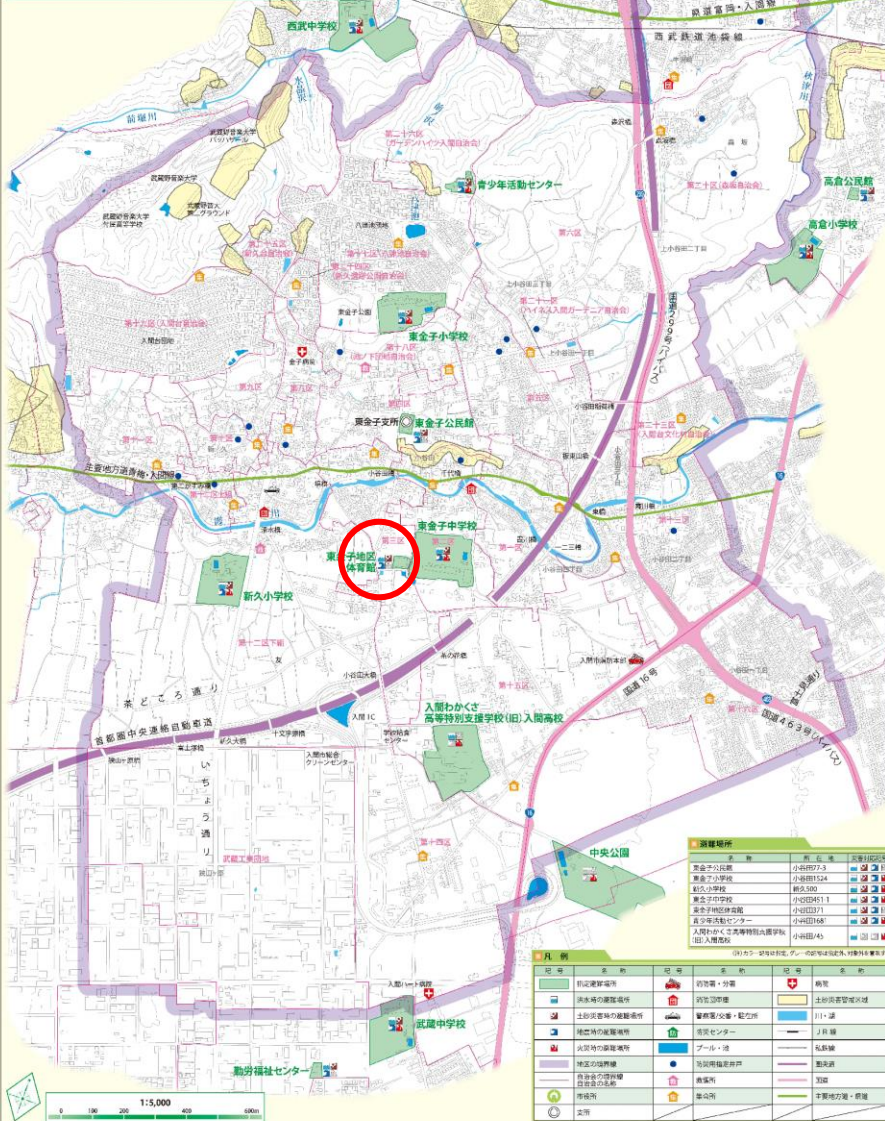
名称	建築年度	築年数
東金子保育所	1973	45

築40年以上
経過している

➤ 老朽化が進んでいることから建替えを検討

人間市防災マップ ＜東金子地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を把握し、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 人間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111

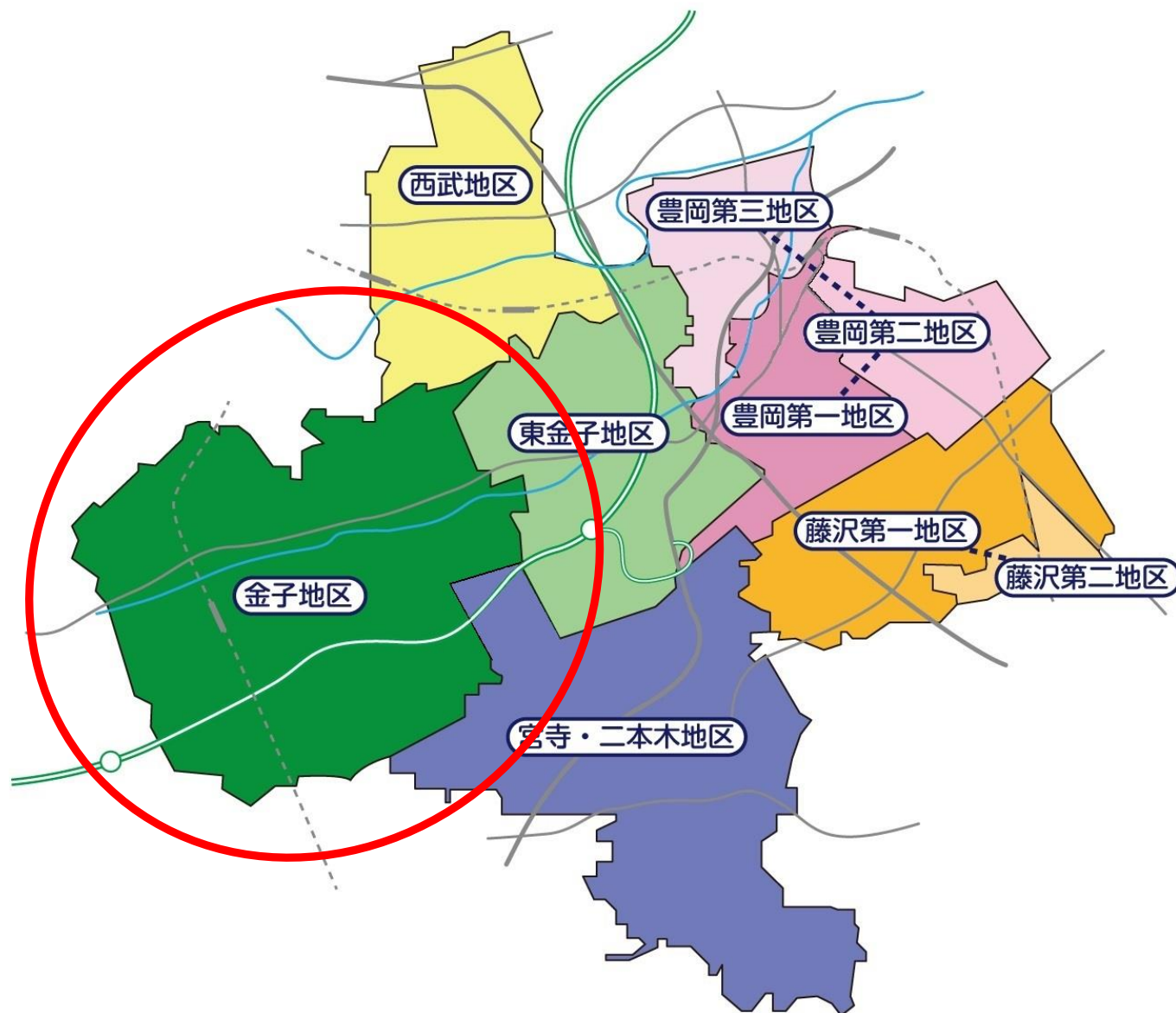


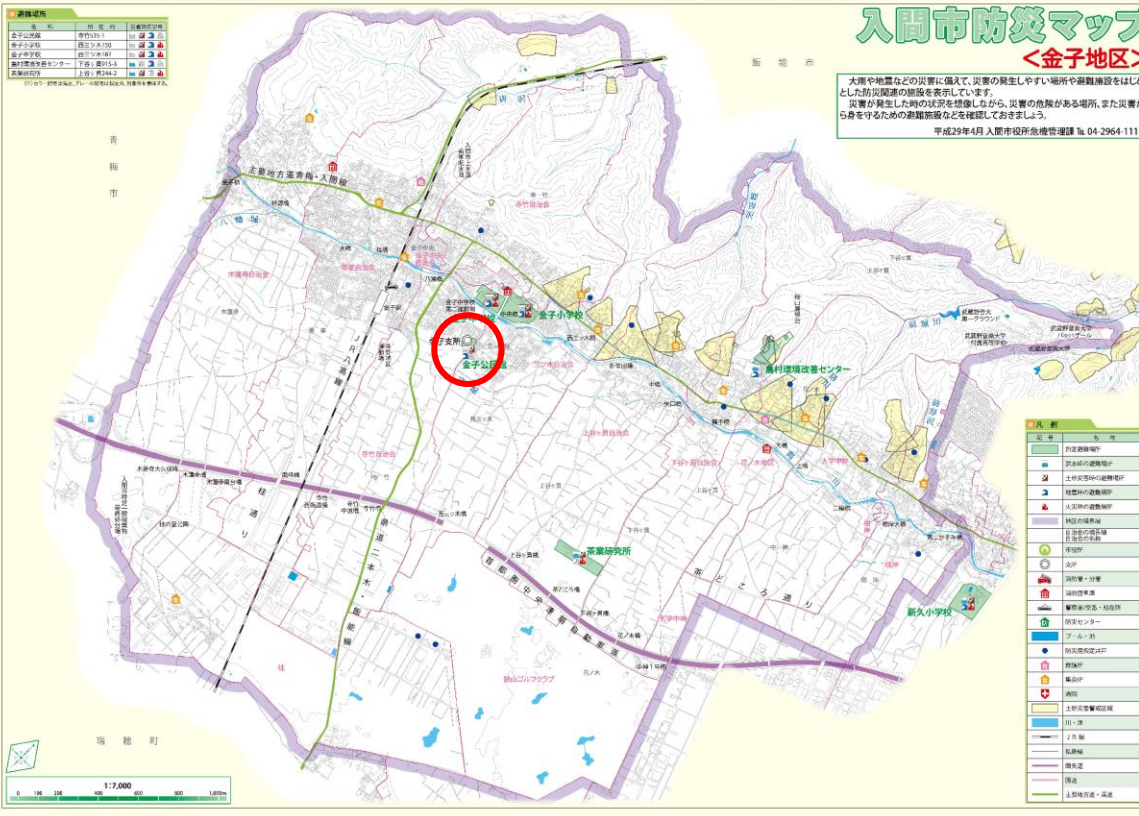
名称	建築年度	築年数
東金子地区体育館	1987	31

築30年以上
経過している

➤ 継続して維持管理

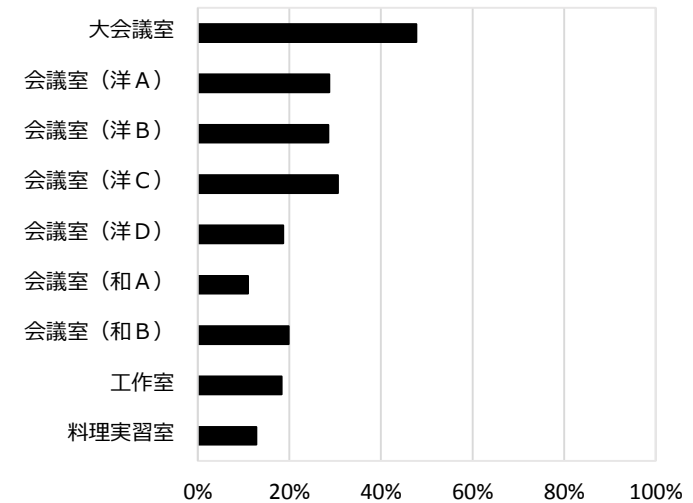
施設名	建築年度	築年数	施設整備の方向性
東金子公民館・支所	1984	34	地区センター化
東金子小学校	1968	50	1施設に統合、複合化 空いた施設の活用方法を検討
新久小学校	1980	38	
青少年活動センター	1969	49	建物の耐用年数により廃止を検討
学校給食センター	1979	39	建替えを検討





名称	建築年度	築年数
金子公民館	1993	25

金子公民館



- 継続して維持管理
- 時期をみて地区センター化

〔学級数・児童数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	児童数 (学区内住民数)
金子小学校	18	632	19	519	12	378	306

〔平成30年度 学年別学級数・児童数〕

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
金子小学校	2	46	2	64	2	64	2	66	2	70	2	68

本市における小中学校の適正規模は、小学校が各学年2学級から3学級（全学年合計12学級～18学級）、中学校は全教科必要教員が確保される全学年合計10学級～18学級とする。

入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針（平成26年4月1日 入間市教育委員会）

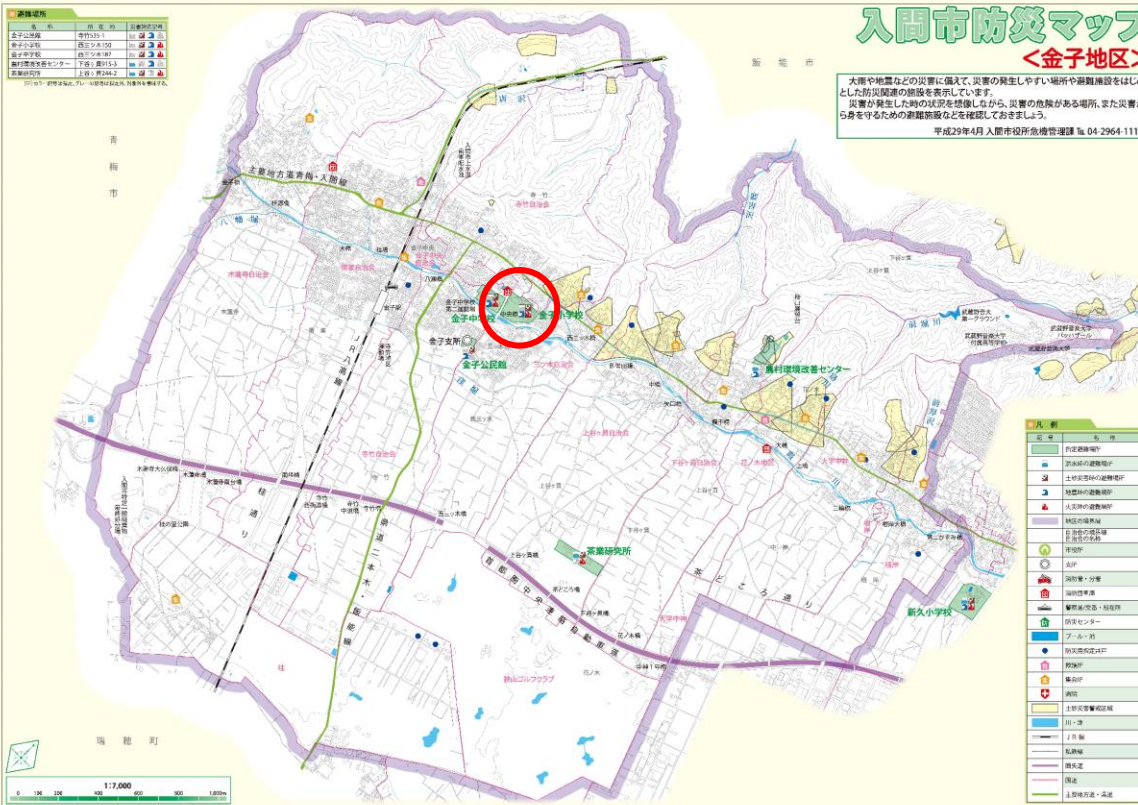
〔学級数・生徒数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度	平成40年度
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	生徒数 (学区内住民数)	生徒数 (学区内住民数)
金子中学校	9	338	9	284	8	244	195	165

〔平成30年度 学年別学級数・生徒数〕

	1年生		2年生		3年生	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金子中学校	3	82	2	76	3	86

- 「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」に照らし合わせると金子中学校は適正規模を下回っている



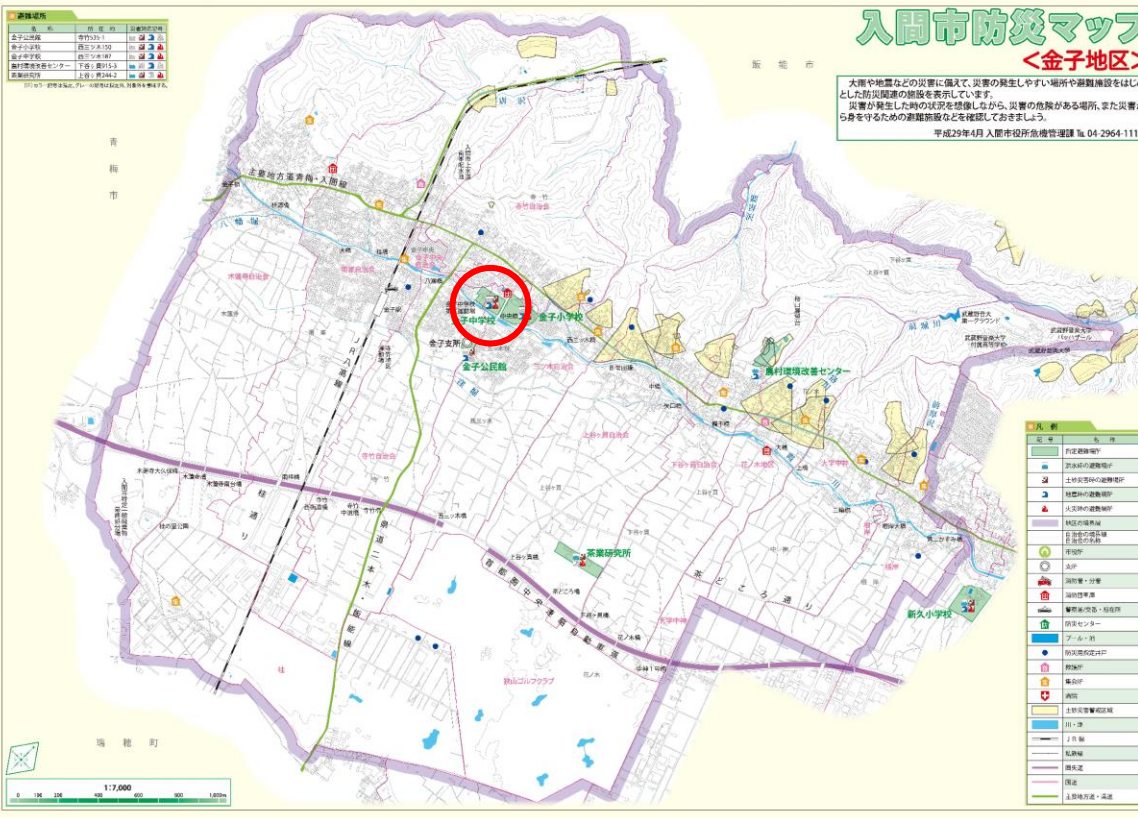
名称	建築年度	築年数
金子小学校	1965	53
金子学童保育室	1990	28
金子第二学童保育室	2017	1

小学校は
築40年以上
経過している

- 継続して維持管理
- 建替え時に学童保育室を複合化

3. 公共施設マネジメント事業計画 金子地区 中学校

61



名称	建築年度	築年数
金子中学校	1985	33

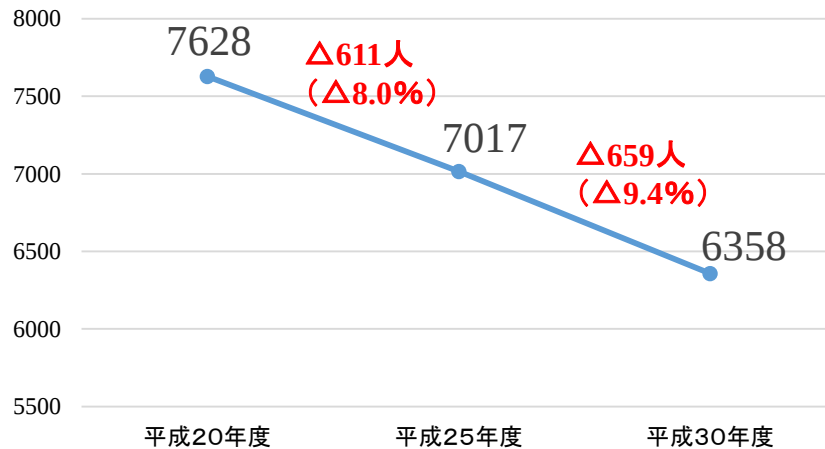
中学校も
築30年以上
経過している

➤ 継続して維持管理

〔金子地区 園児数推移〕

公立保育所	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
金子第一保育所	110	66	46(120)
金子第二保育所	64	52	53(84)

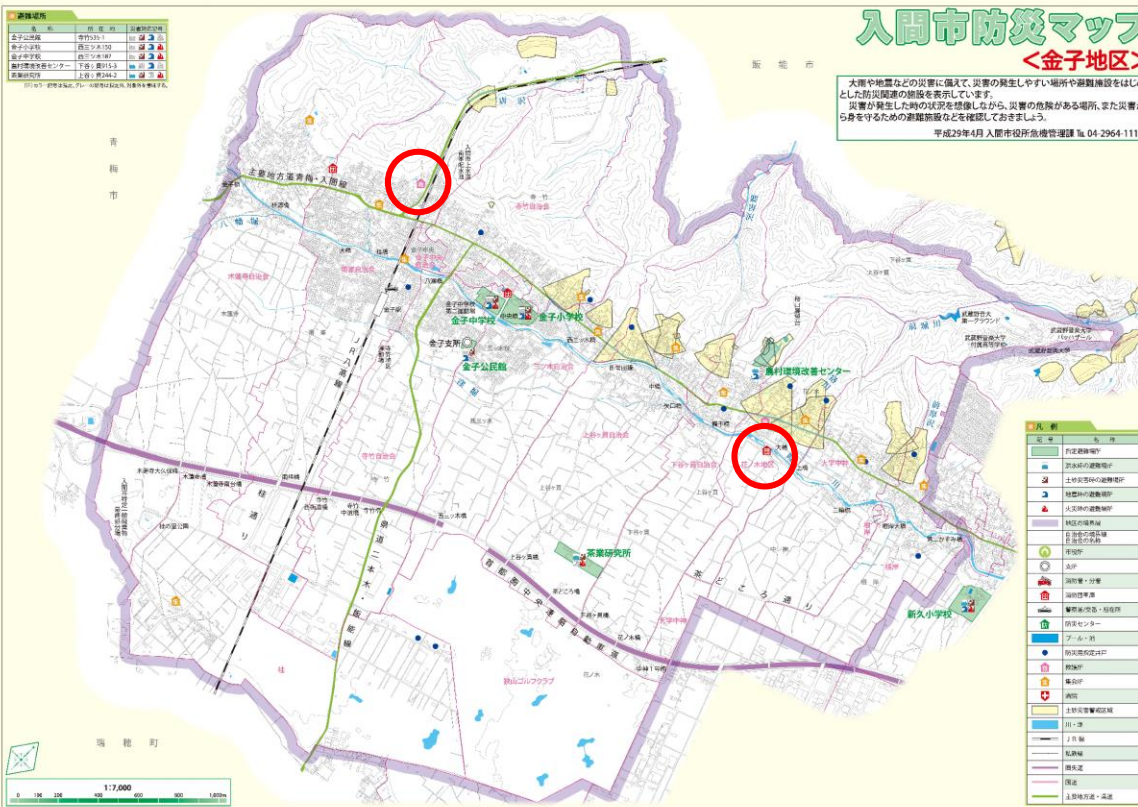
〔入間市 0～5歳児人口推移〕



〔平成30年度 市内保育所等在籍者数〕

種 別	在籍者数
公立保育所	828
民間保育園	1,354
地域型保育施設	76
計	2,258

種 別	在籍者数
幼稚園（平成29年度）	1,963

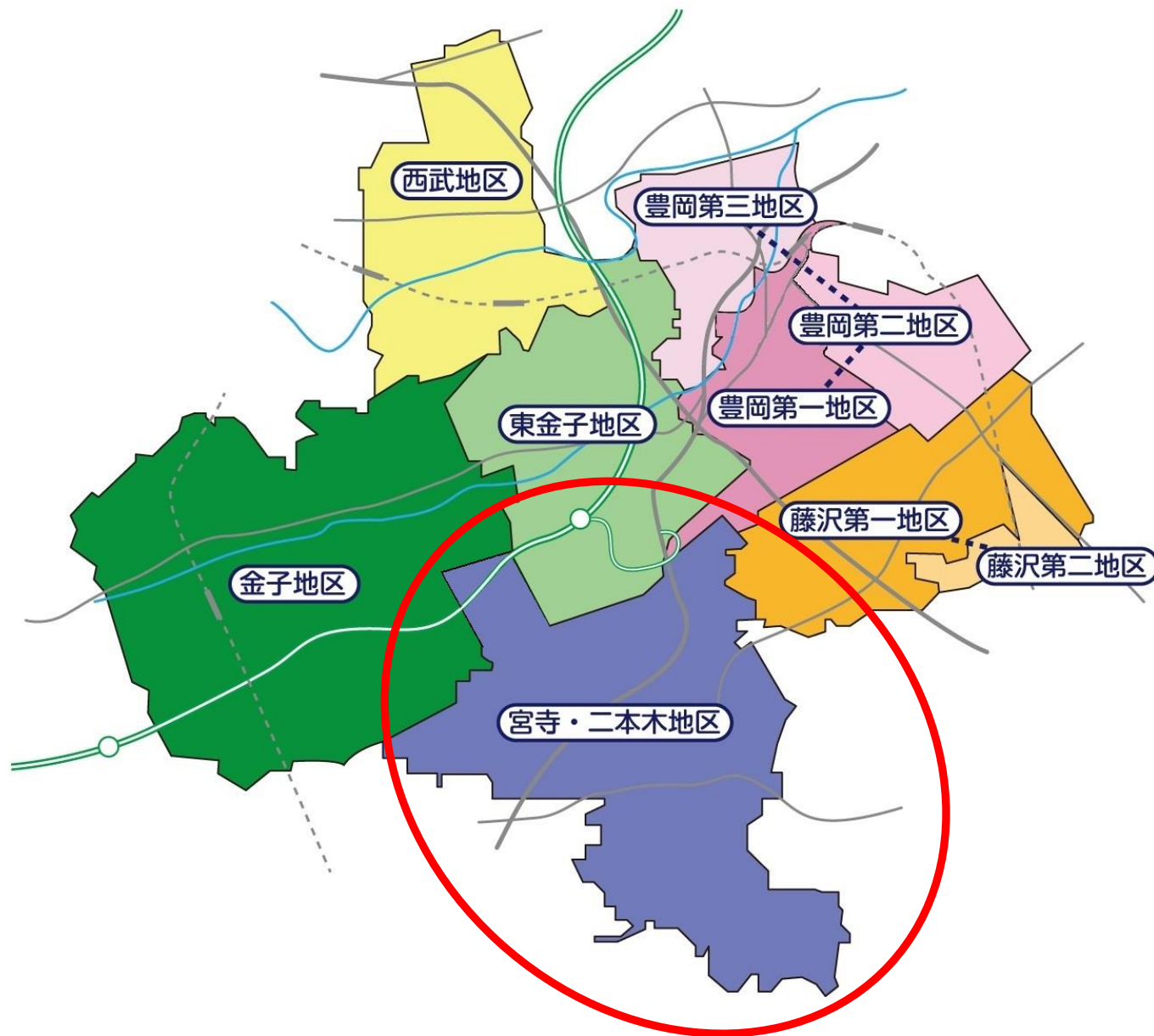


名称	建築年度	築年数
金子第一保育所	1968	50
金子第二保育所	1970	48

両保育所とも
築40年以上
経過している

- 2所ある保育所1所に統合
- 保育所は旧市町村区分である6地区分で配置を検討

施設名	建築年度	築年数	施設整備の方向性
金子公民館・支所	1993	25	地区センター化
図書館（金子分館）	1993	25	機能を小学校へ複合化
金子小学校	1965	53	複合化を検討
金子第一保育所	1968	50	1施設に統合 空いた施設の活用方法を検討
金子第二保育所	1970	48	

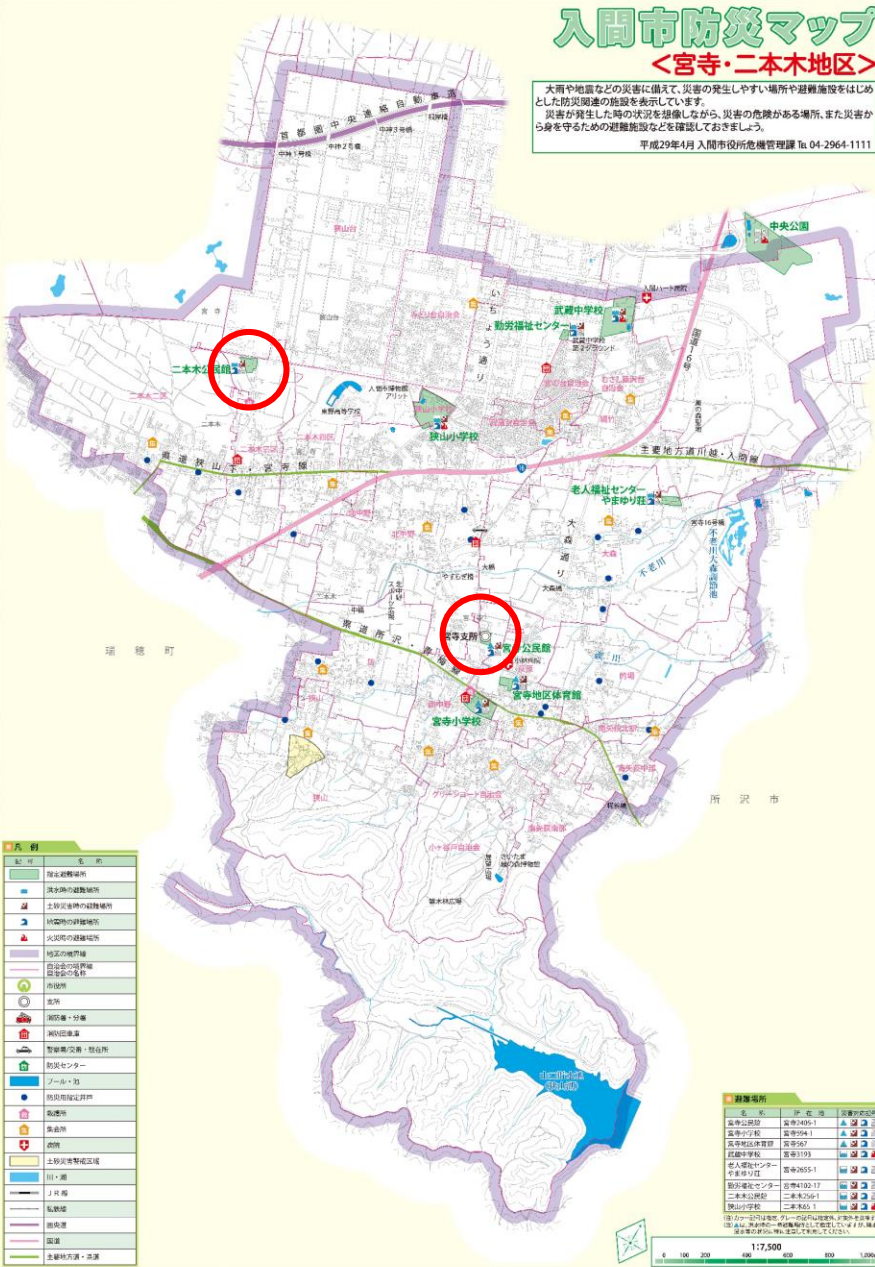


人間市防災マップ

<宮寺・二本木地区>

水害や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

平成29年4月 人間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111

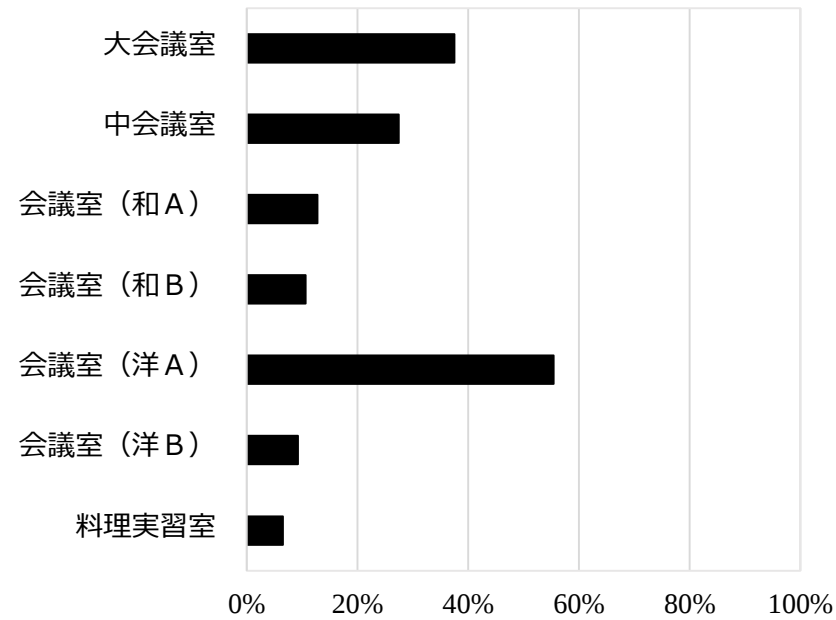


名称	建築年度	築年数
宮寺公民館	1983	35
二本木公民館	2006	12

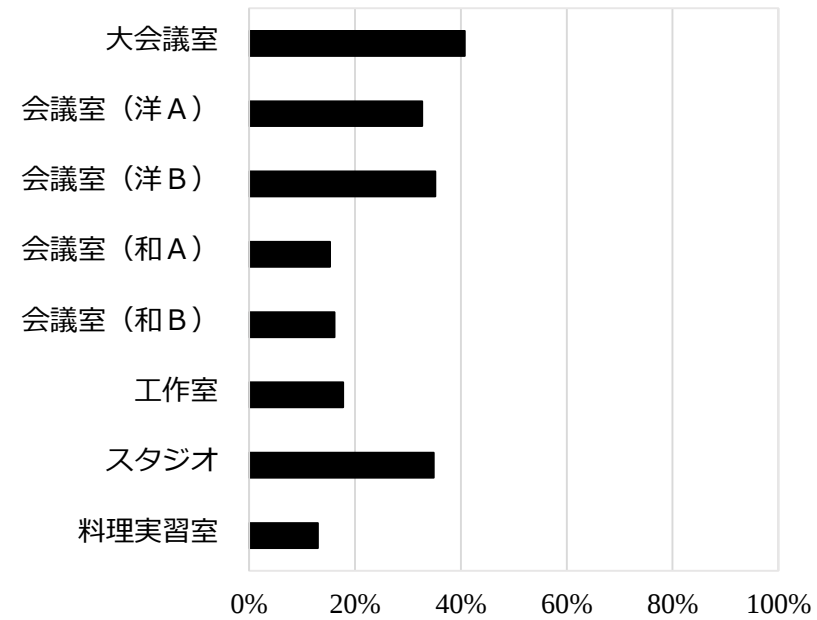
宮寺公民館は
築30年以上経過している

- 2館ある公民館を
1館に統合
- 時期をみて
地区センター化

宮寺公民館



二本木公民館



〔学級数・児童数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	児童数 (学区内住民数)
宮寺小学校	11	277	10	257	8	219	197
狭山小学校	13	393	15	467	13	432	370

〔平成30年度 学年別学級数・児童数〕

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
宮寺小学校	1	29	2	38	1	35	1	32	2	45	1	40
狭山小学校	2	67	2	66	2	60	2	78	3	82	2	79

本市における小中学校の適正規模は、小学校が各学年2学級から3学級（全学年合計12学級～18学級）、中学校は全教科必要教員が確保される全学年合計10学級～18学級とする。

入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針（平成26年4月1日 入間市教育委員会）

- 「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」に照らし合わせると宮寺小学校は適正規模を下回っている

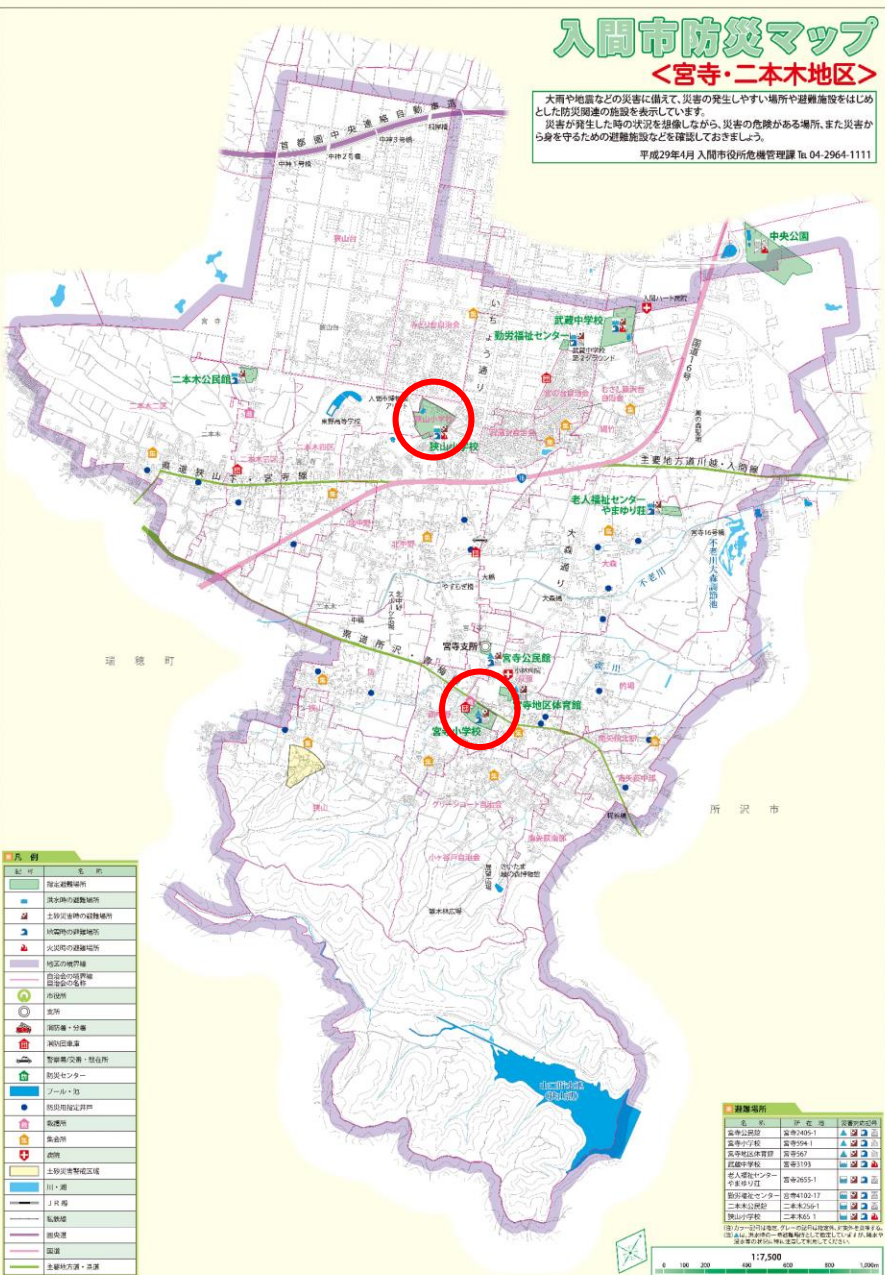
〔学級数・生徒数推移〕

	平成20年度 学級数 生徒数	平成25年度 学級数 生徒数	平成30年度 学級数 生徒数	平成35年度 生徒数 (学区内住民数)	平成40年度 生徒数 (学区内住民数)
武蔵中学校	10 315	9 327	9 325	311	285

〔平成30年度 学年別学級数・生徒数〕

	1年生 学級数 生徒数	2年生 学級数 生徒数	3年生 学級数 生徒数
武蔵中学校	3 102	3 104	3 119

- 「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」に照らし合わせると武蔵中学校は適正規模を下回っている



名称	建築年度	築年数
宮寺小学校	1966	52
狭山小学校	1971	47
宮寺学童保育室	1968	50
狭山学童保育室	2008	10

両方の小学校と宮寺学童保育室
は築40年以上経過している

- 2施設ある学童保育室を1施設に統合
- 2校ある小学校を1校に統合し、学童保育室を複合化

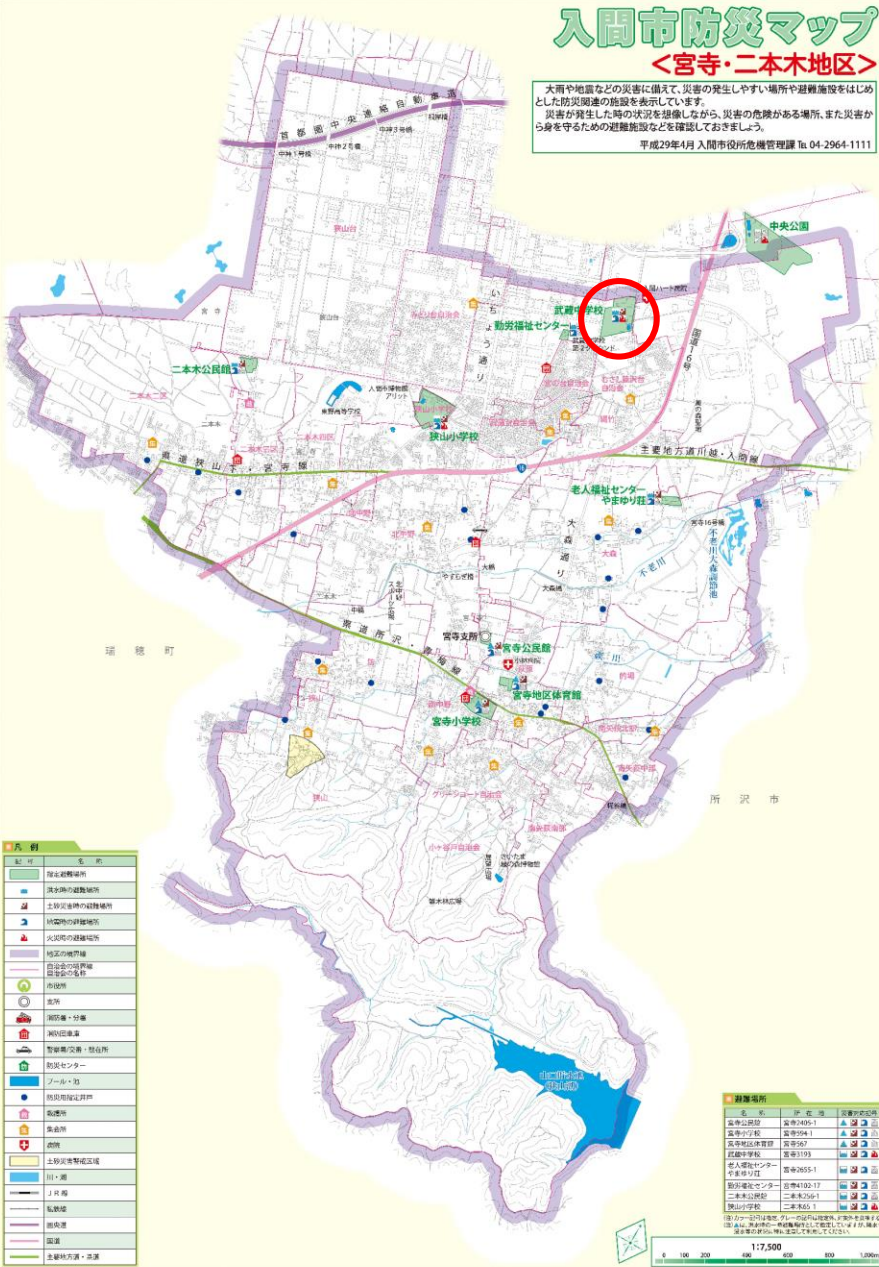
3. 公共施設マネジメント事業計画 宮寺・二本木地区 中学校

71

入間市防災マップ ＜宮寺・二本木地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。

平成29年4月 入間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
武蔵中学校	2013	5

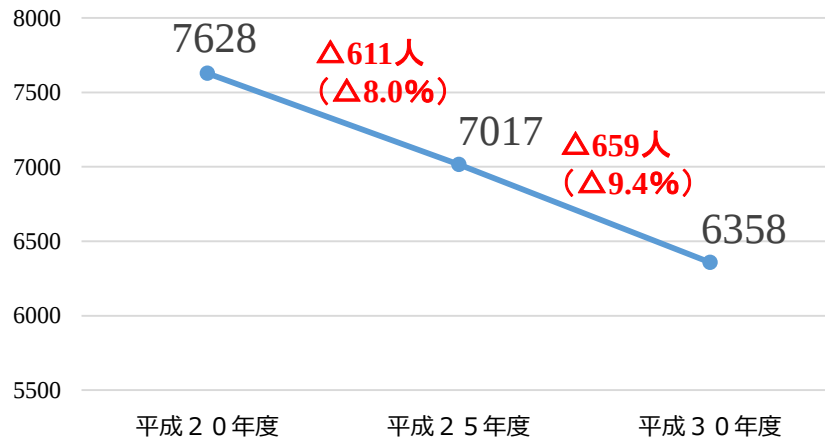
➤ 継続して維持管理

〔宮寺・二本木地区 園児数推移〕

公立保育所	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
宮寺保育所	97	73	71(120)
二本木保育所	62	53	60(60)

民間保育園	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
ゆりかご保育園	136	124	118(120)

〔入間市 0～5歳児人口推移〕



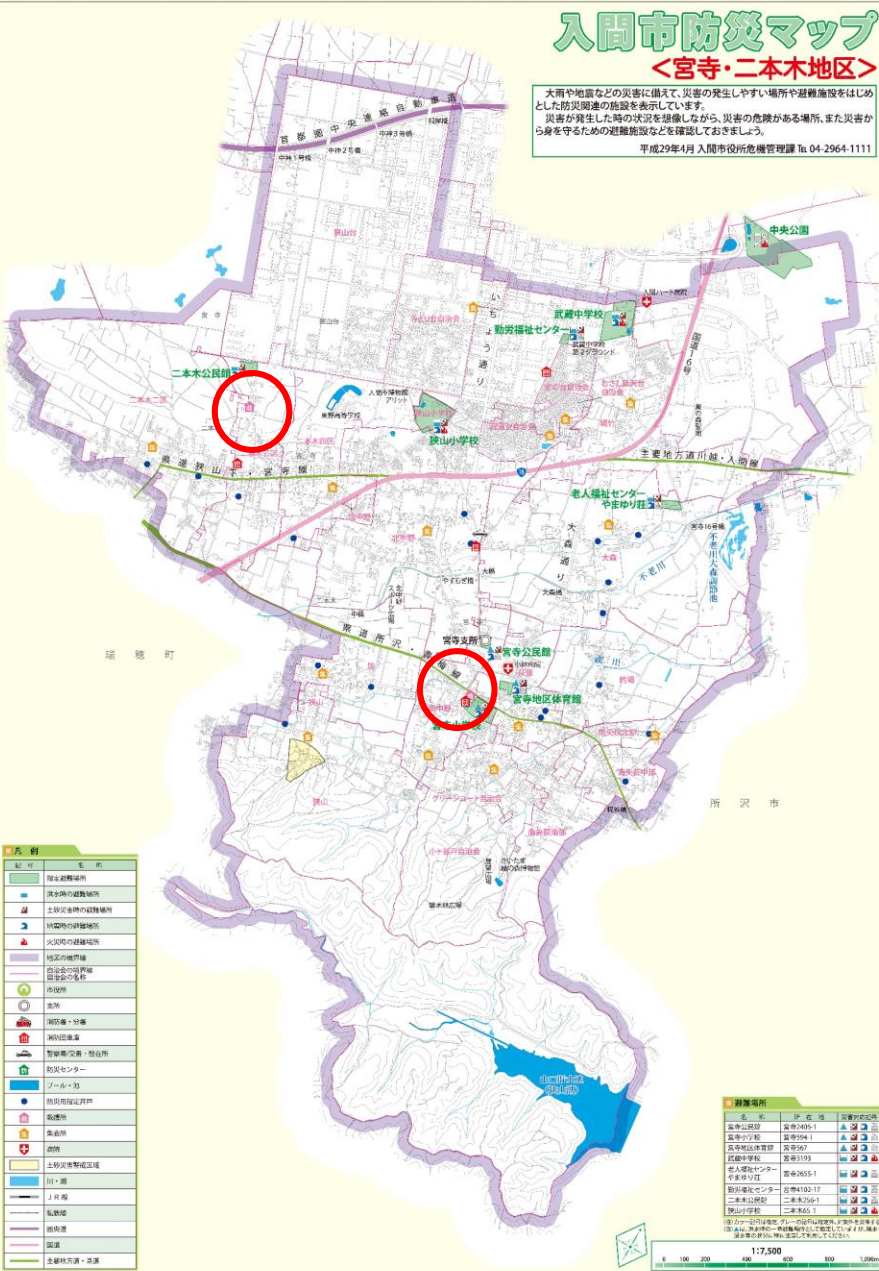
〔平成30年度 市内保育所等在籍者数〕

種 別	在籍者数
公立保育所	828
民間保育園	1,354
地域型保育施設	76
計	2,258

種 別	在籍者数
幼稚園 (平成29年度)	1,963

入間市防災マップ <宮寺・二本木地区>

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 入間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111

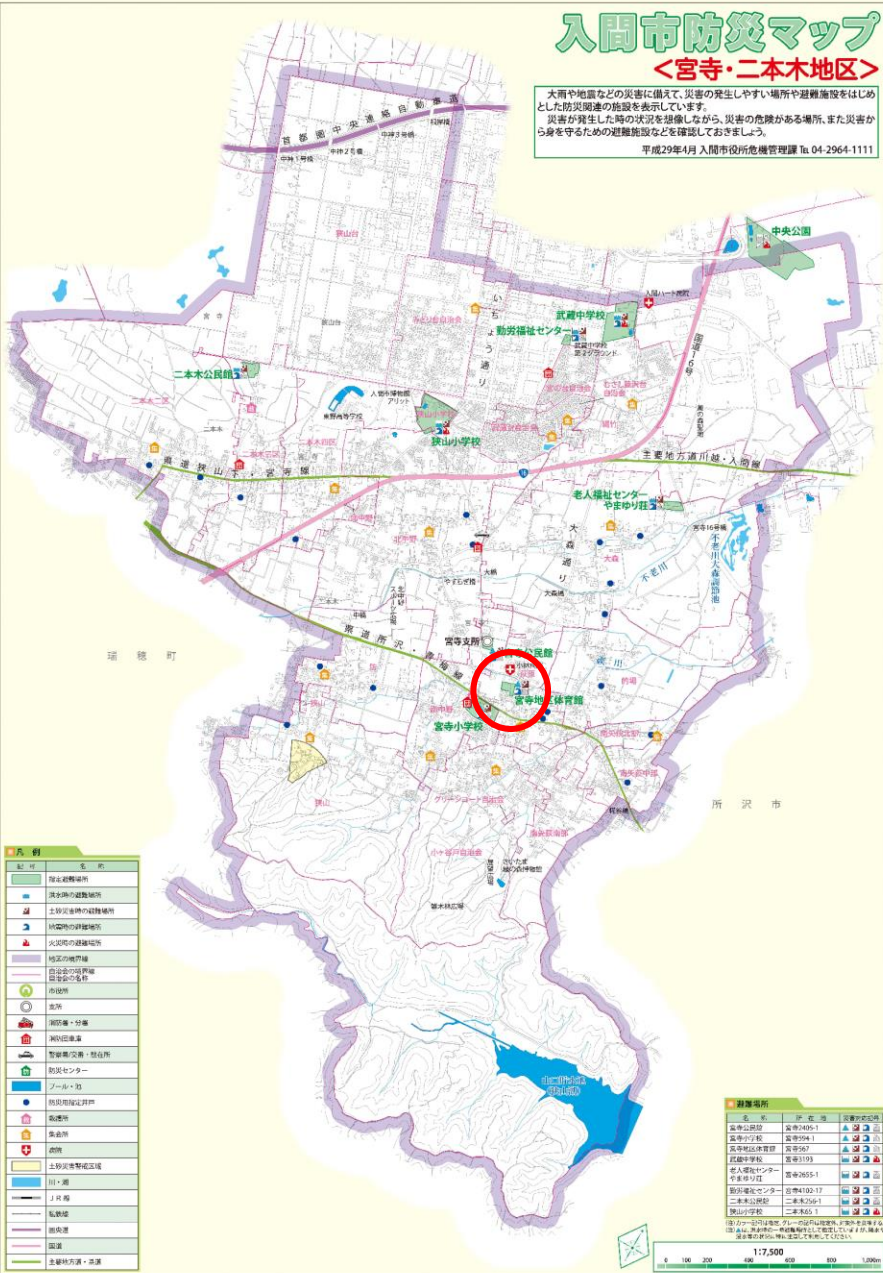


名称	建築年度	築年数
宮寺保育所	1974	44
二本木保育所	1967	51

両施設とも
築30年以上
経過している

- 2所ある保育所1所に統合
- 保育所は旧市町村区分である6地区分で配置を検討

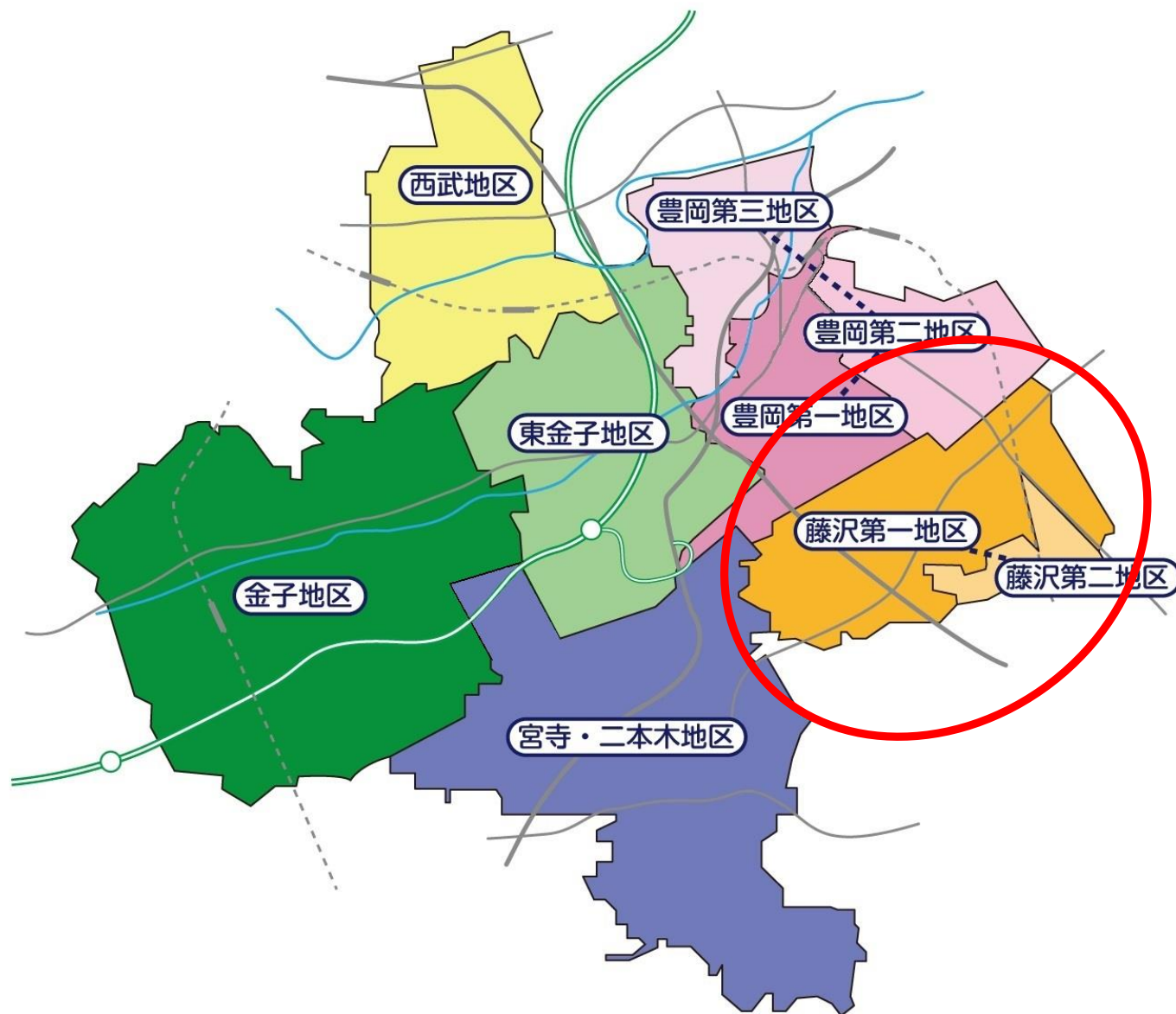
3. 公共施設マネジメント事業計画 宮寺・二本木地区 体育館



名称	建築年度	築年数
宮寺地区体育館	1992	26

➤ 継続して維持管理

施設名	建築年度	築年数	施設整備の方向性
宮寺公民館・支所	1983	35	1施設に統合、地区センター化 空いた施設の活用方法を検討
二本木公民館	2006	12	
宮寺小学校	1966	52	1施設に統合、複合化 空いた施設の活用方法を検討
狭山小学校	1971	47	
宮寺保育所	1974	44	1施設に統合 空いた施設の活用方法を検討
二本木保育所	1967	51	
勤労福祉センター	1986	32	用途変更・譲渡・売却などを検討



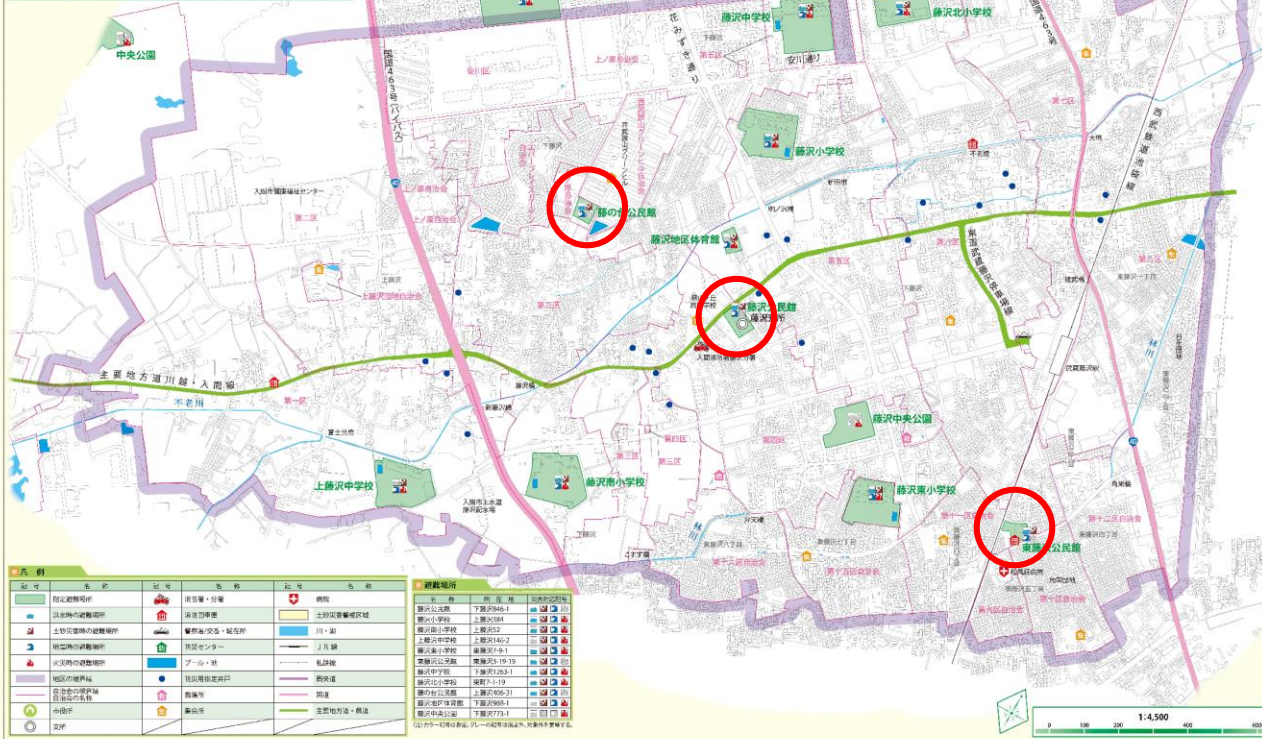
3. 公共施設マネジメント事業計画 藤沢地区 公民館

77

人間市防災マップ

＜藤沢地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を把握しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 人間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
藤沢公民館	2000	18
藤の台公民館	1986	32
東藤沢公民館	1994	24

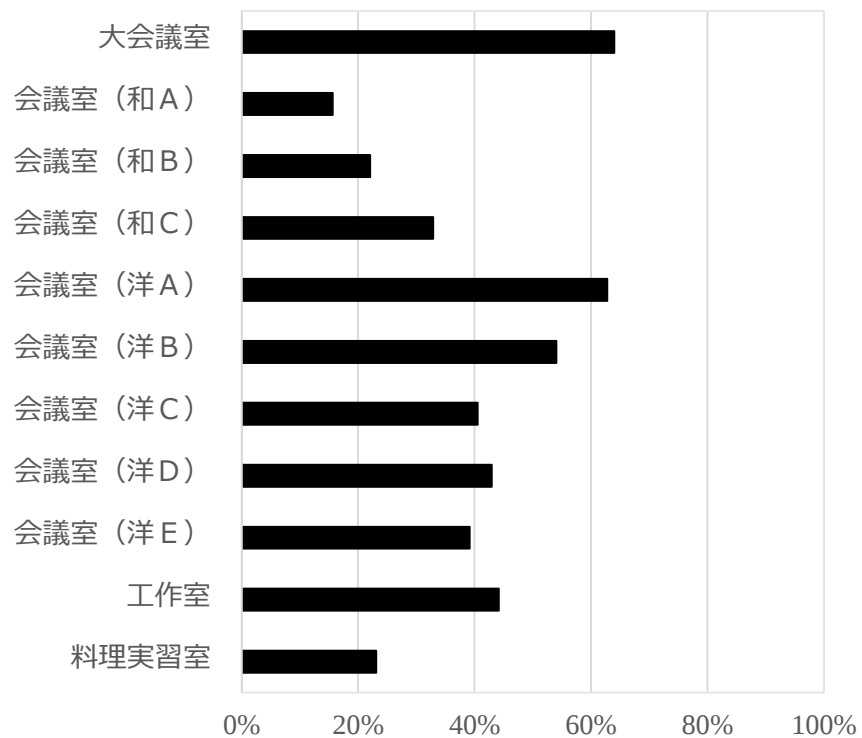
藤の台公民館が
築30年以上
経過している

- 3館ある公民館を2館に統合
- 時期をみて地区センター化

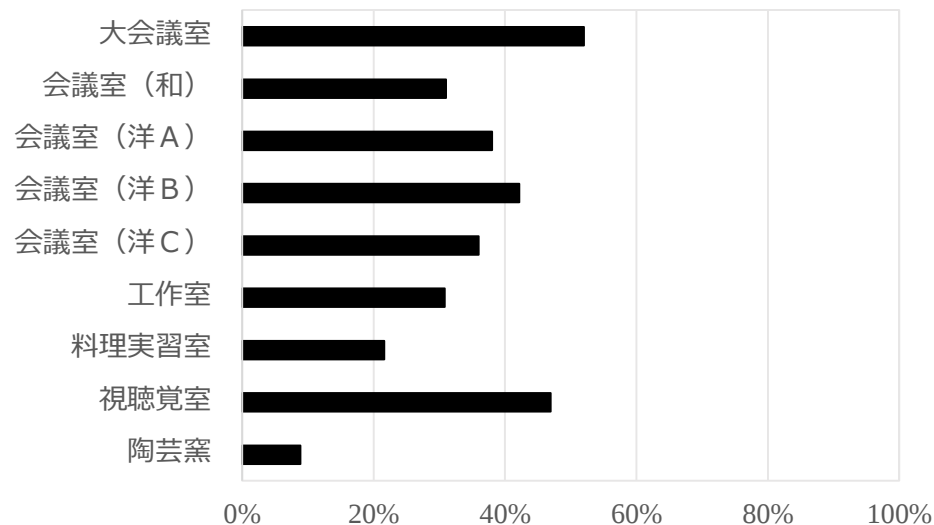
3. 公共施設マネジメント事業計画 藤沢地区 各公民館稼働率

78

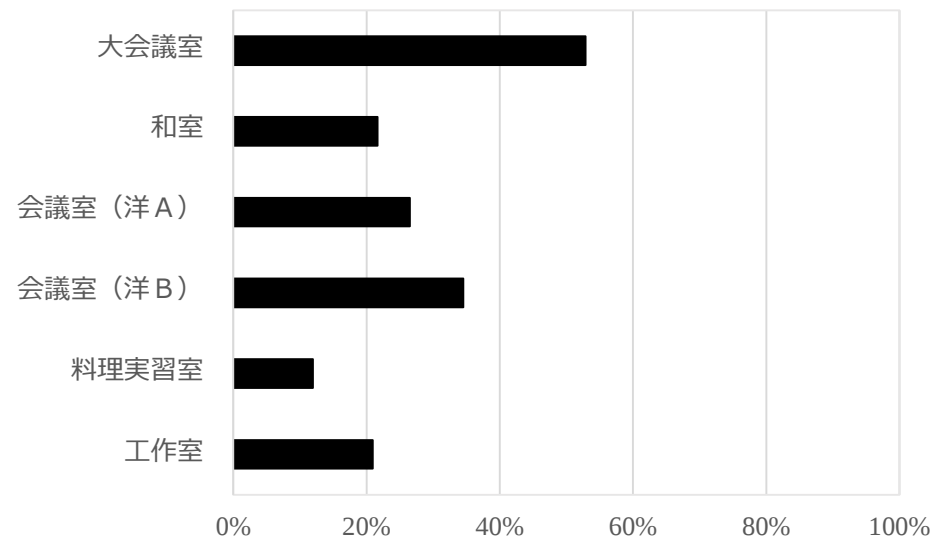
藤沢公民館



東藤沢公民館



藤の台公民館



〔学級数・児童数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	児童数 (学区内住民数)
藤沢小学校	19	688	20	527	15	462	423
藤沢北小学校	19	606	21	660	19	677	618
藤沢東小学校	19	650	21	693	19	653	551
藤沢南小学校	13	407	16	506	17	519	368

〔平成30年度 学年別学級数・児童数〕

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
藤沢小学校	3	78	3	76	2	59	2	82	3	88	2	79
藤沢北小学校	3	104	4	116	3	114	3	115	3	118	3	110
藤沢東小学校	3	97	3	99	3	115	3	94	4	129	3	119
藤沢南小学校	2	64	3	91	3	85	3	97	3	83	3	99

本市における小中学校の適正規模は、小学校が各学年2学級から3学級（全学年合計12学級～18学級）、中学校は全教科必要教員が確保される全学年合計10学級～18学級とする。

入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針（平成26年4月1日 入間市教育委員会）

〔学級数・生徒数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度	平成40年度
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	生徒数 (学区内住民数)	生徒数 (学区内住民数)
藤沢中学校	16	573	17	584	15	584	553	464
上藤沢中学校	10	350	11	398	12	416	474	371

〔平成30年度 学年別学級数・生徒数〕

	1年生		2年生		3年生	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
藤沢中学校	5	199	5	191	5	194
上藤沢中学校	4	138	4	147	4	131

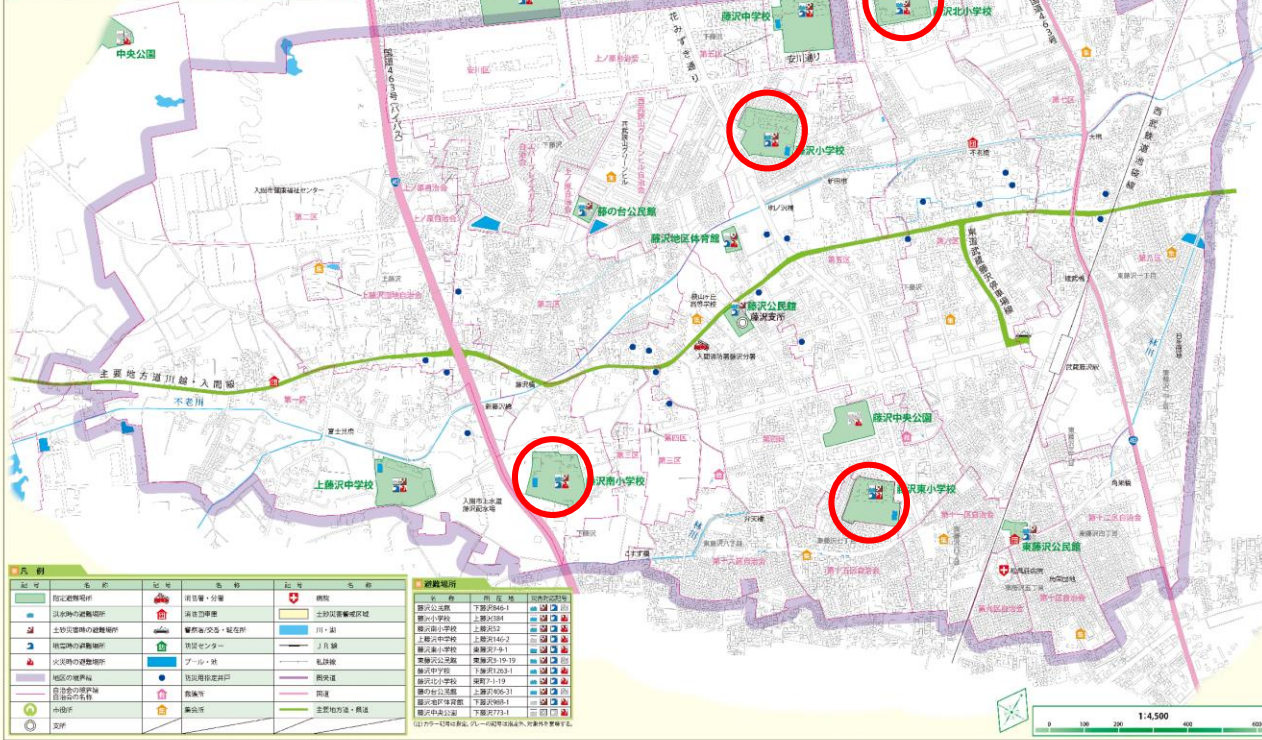
3. 公共施設マネジメント事業計画 藤沢地区 小学校・学童保育室

81

人間市防災マップ

＜藤沢地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を把握しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 人間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
藤沢小学校	1965	53
藤沢北小学校	1978	40
藤沢南小学校	1971	47
藤沢東小学校	1975	43
藤沢学童保育室	1993	25
藤沢北学童保育室	1983	35
藤沢南第一学童保育室 藤沢南第二学童保育室	2018	0
藤沢東学童保育室	1975	43

すべての小学校が
築40年以上
経過している

- 4施設ある学童保育室を2施設に統合
- 4校ある小学校を2校に統合し、学童保育室を複合化

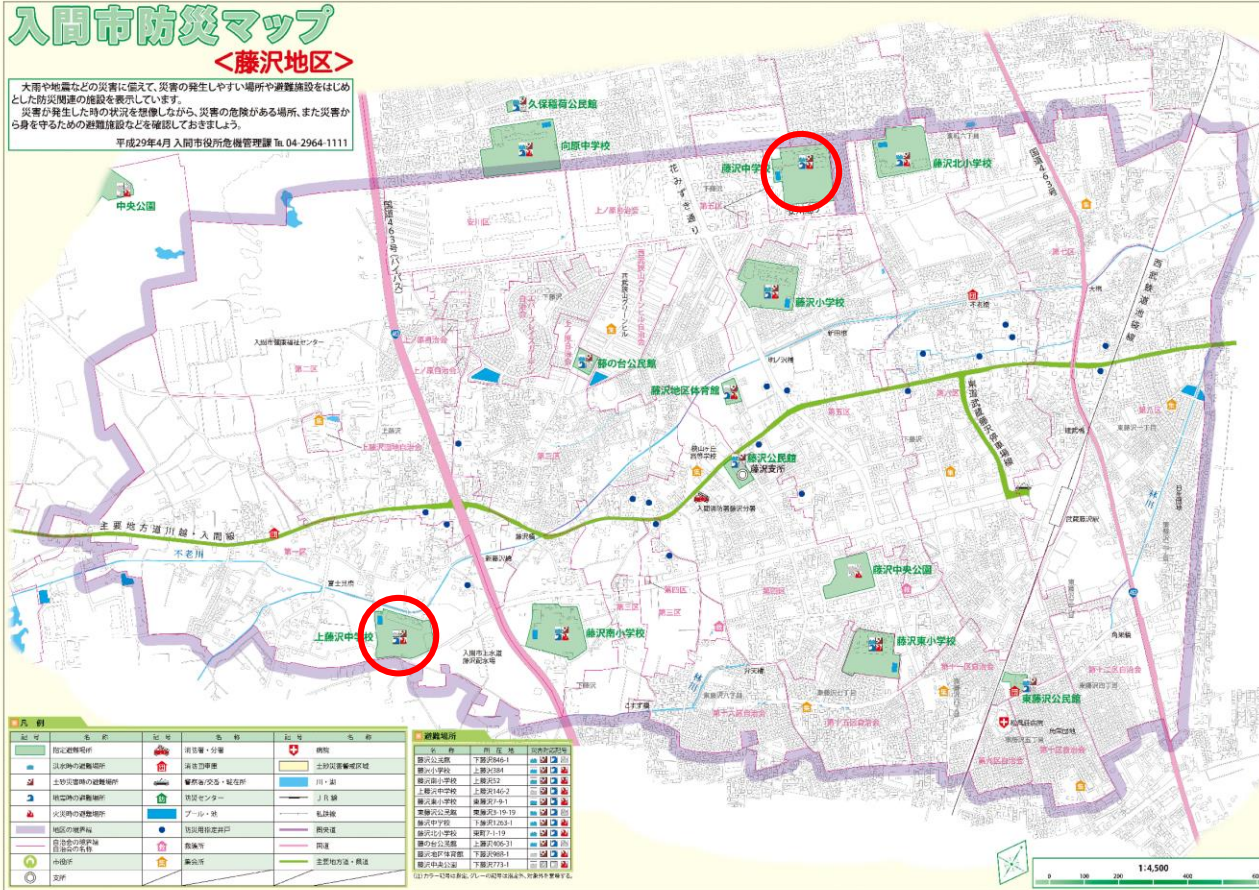
3. 公共施設マネジメント事業計画 藤沢地区 中学校

82

入間市防災マップ

＜藤沢地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想定しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 入間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
藤沢中学校	1964	54
上藤沢中学校	1983	35

両校とも老朽化が進んでいる

➤ 老朽化が進んでいることから建替え時に
移転も併せて検討

〔藤沢地区 園児数推移〕

公立保育所	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
藤沢保育所	135	122	101(120)
藤沢第二保育所	131	124	105(120)

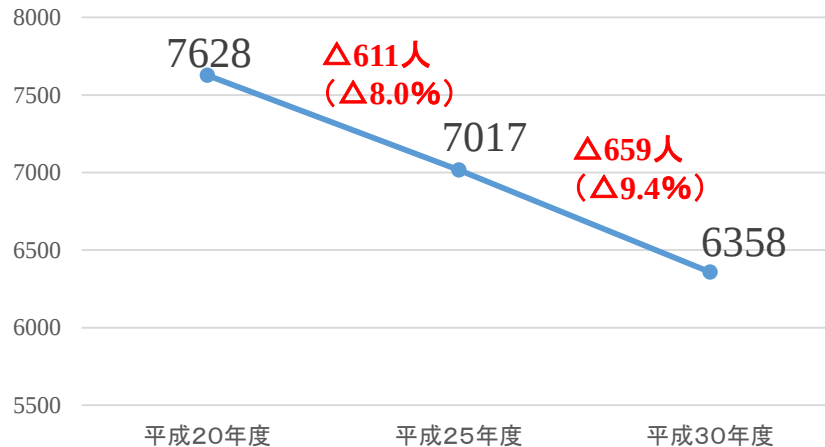
民間保育園	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
こどもの国保育園	67	98	94(90)
わかばの森保育園	21	20	23(20)
むさしっこ保育園	51	66	69(90)
どろんこ保育園※1	-	-	64(70)

※1どろんこ保育園は平成27年度開園

地域型保育施設	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
武蔵藤沢めぐみ保育園※2	-	-	16(15)

※2地域型保育施設の認可は平成27年度以降

〔入間市 0～5歳児人口推移〕



〔平成30年度 市内保育所等在籍者数〕

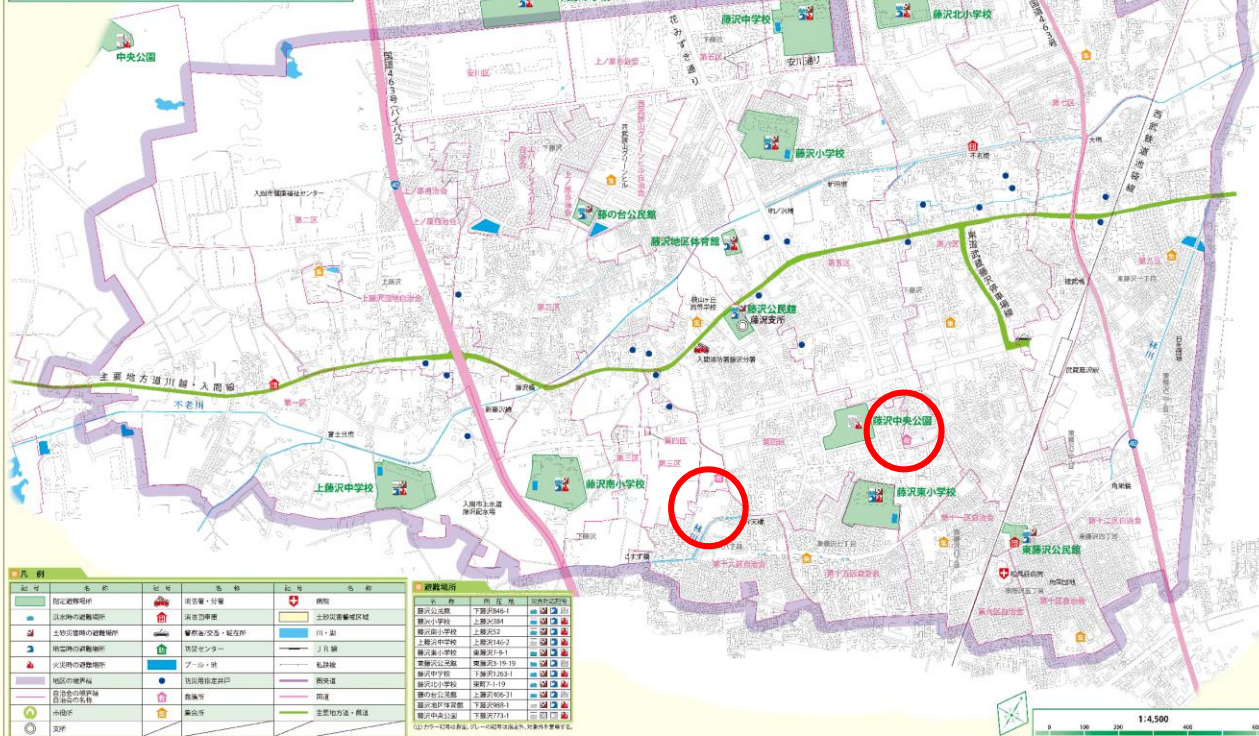
種 別	在籍者数
公立保育所	828
民間保育園	1,354
地域型保育施設	76
計	2,258

種 別	在籍者数
幼稚園 (平成29年度)	1,963

入間市防災マップ

＜藤沢地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を冷静に把握し、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 入間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
藤沢保育所	1999	19
藤沢第二保育所	2001	17

- 2所ある保育所1所に統合
- 保育所は旧市町村区分である6地区分で配置を検討

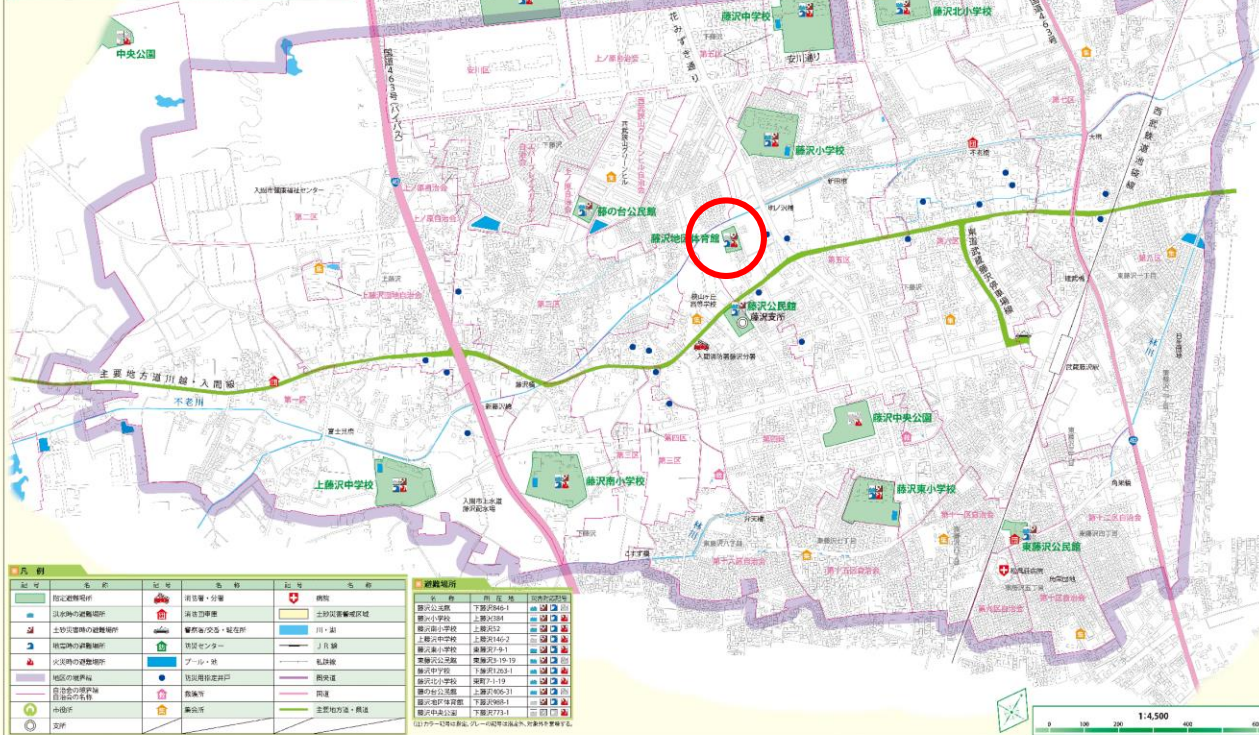
3. 公共施設マネジメント事業計画 藤沢地区 体育館

85

人間市防災マップ

＜藤沢地区＞

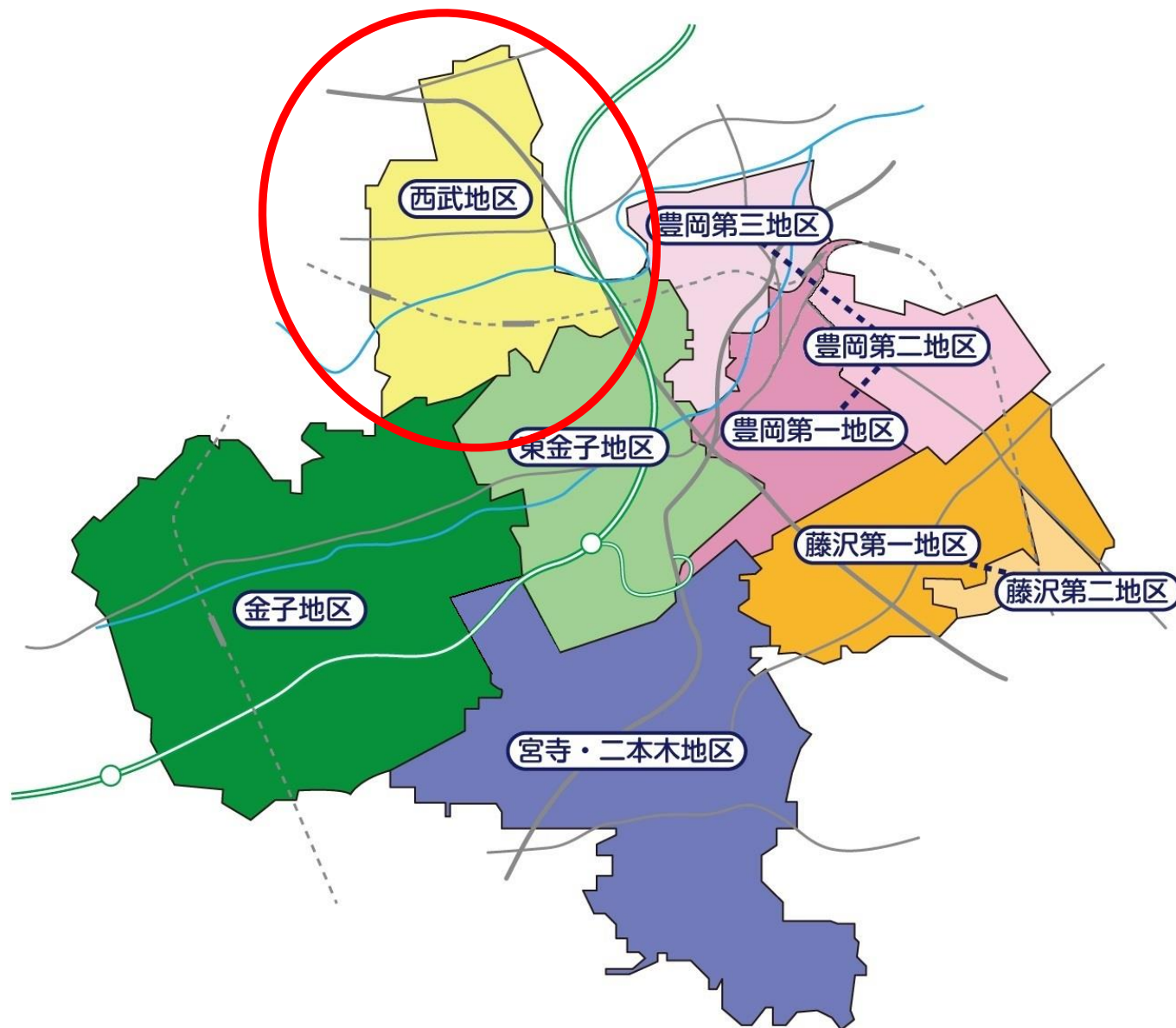
大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を把握しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 人間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
藤沢地区体育館	1986	32

➤ 継続して維持管理

施設名	建築年度	築年数	施設整備の方向性
藤沢公民館・支所	2000	18	1施設に統合、地区センター化 空いた施設の活用方法を検討
藤の台公民館	1986	32	
東藤沢公民館	1994	24	地区センター化
図書館（藤沢分館）	2000	18	機能を小学校へ複合化
藤沢小学校	1965	53	1施設に統合、複合化 空いた施設の活用方法を検討
藤沢北小学校	1978	40	
藤沢東小学校	1971	47	1施設に統合、複合化 空いた施設の活用方法を検討
藤沢南小学校	1975	43	
藤沢保育所	1999	19	1施設に統合 空いた施設の活用方法を検討
藤沢第二保育所	2001	17	

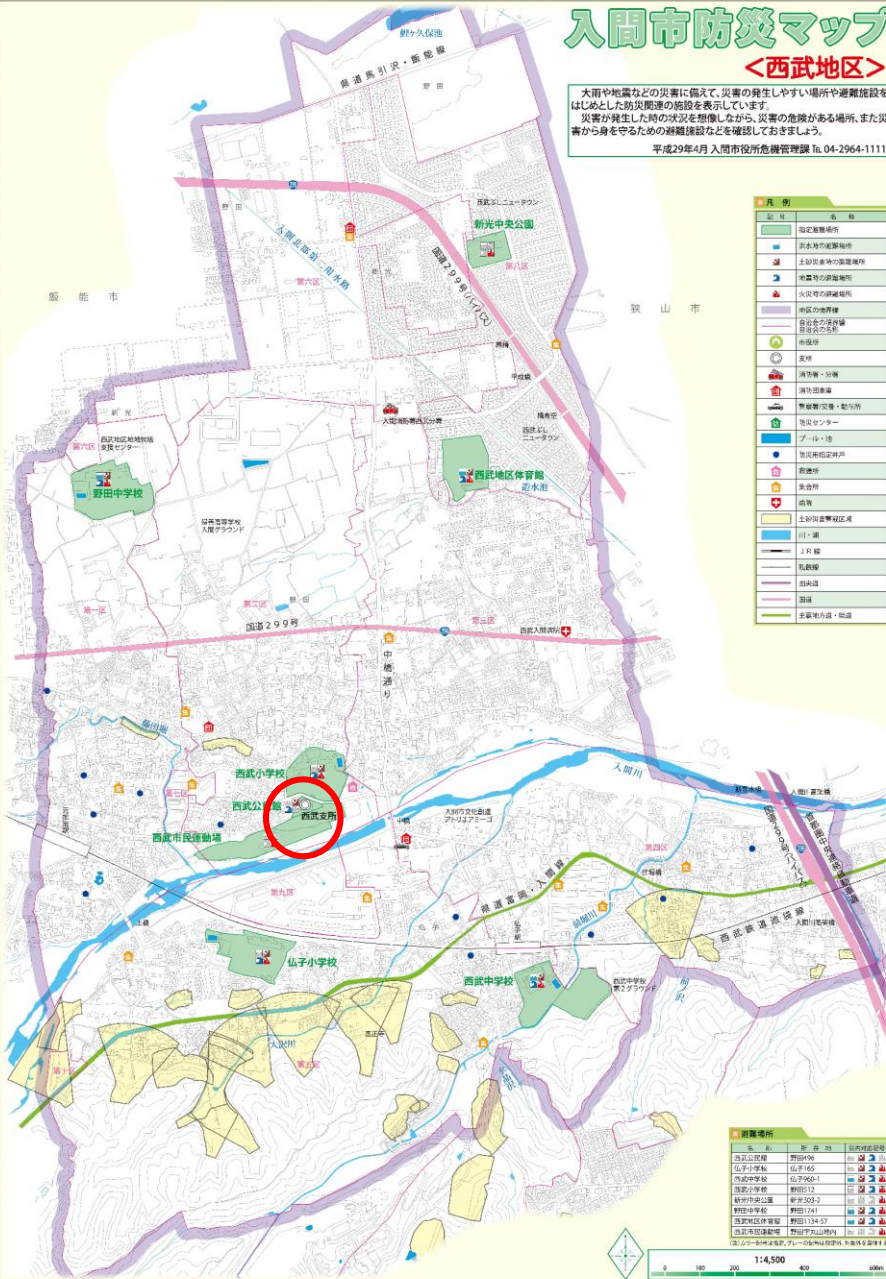


3. 公共施設マネジメント事業計画 西武地区 公民館

88

人間市防災マップ ＜西武地区＞

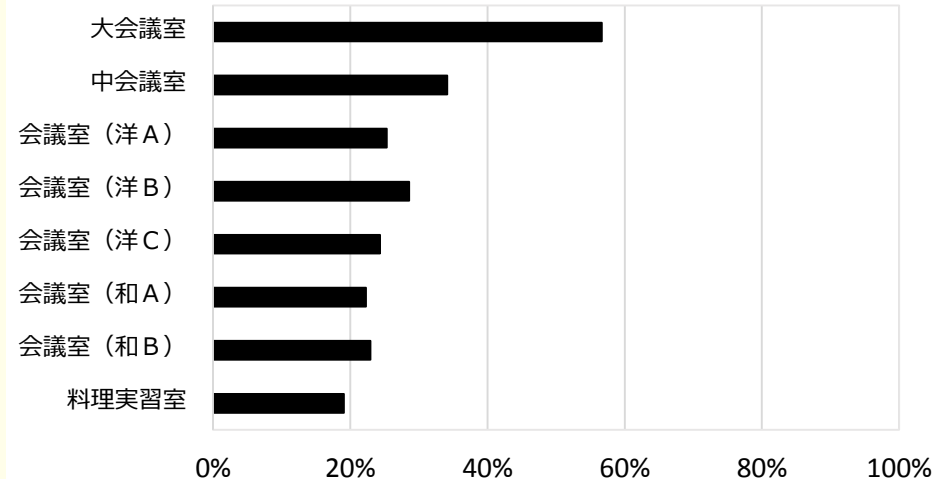
大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 人間市役所危機管理課 Tel. 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
西武公民館	1981	37

築30年以上
経過している

西武中央公民館



- 継続して維持管理
- 時期をみて
地区センター化

〔学級数・児童数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	児童数 (学区内住民数)
西武小学校	23	772	24	751	21	704	607
仏子小学校	14	416	12	339	12	294	281

〔平成30年度 学年別学級数・児童数〕

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
西武小学校	4	118	4	115	3	121	3	107	3	120	4	123
仏子小学校	2	51	2	42	2	44	2	59	2	46	2	52

本市における小中学校の適正規模は、小学校が各学年2学級から3学級（全学年合計12学級～18学級）、中学校は全教科必要教員が確保される全学年合計10学級～18学級とする。

入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針（平成26年4月1日 入間市教育委員会）

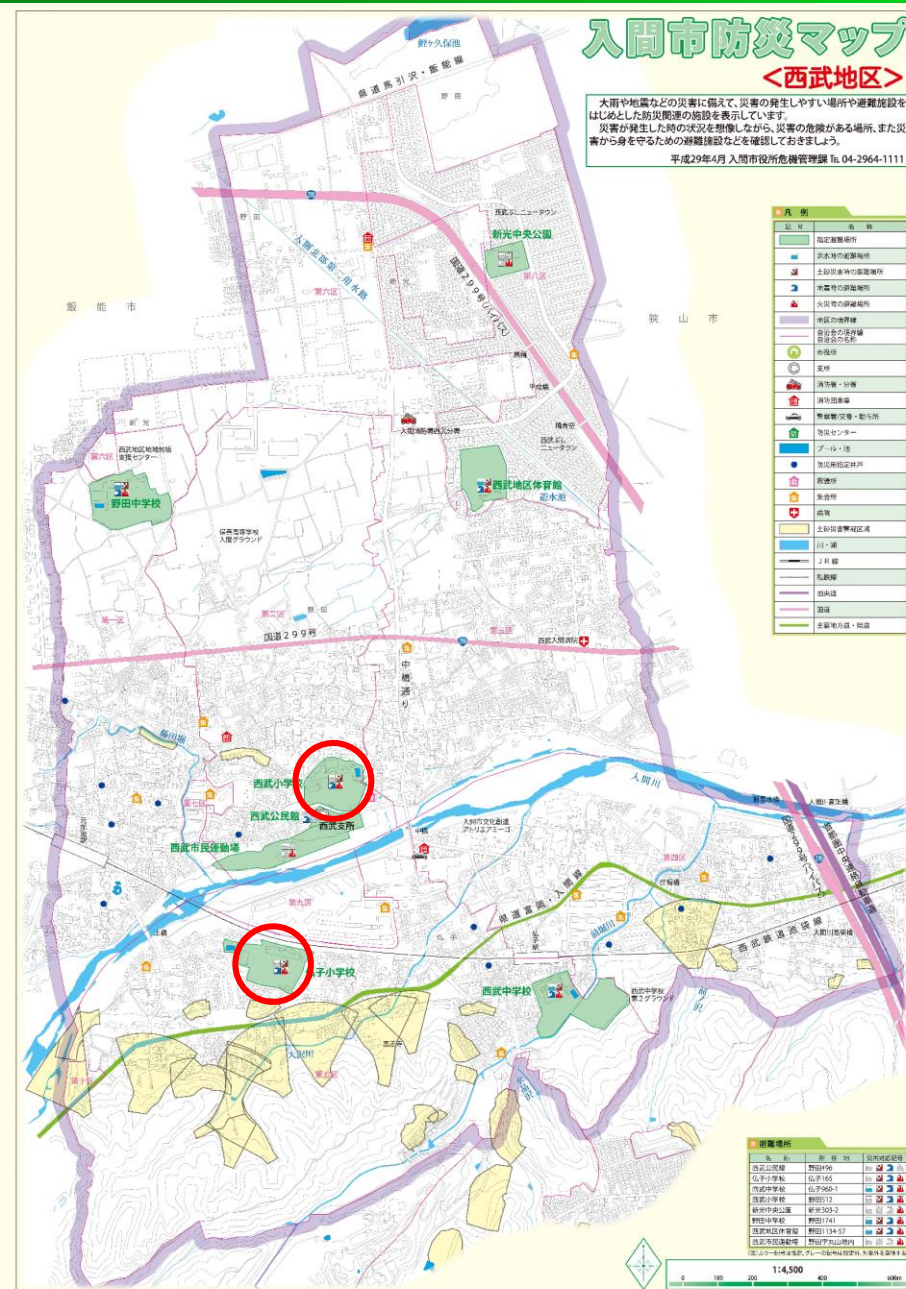
〔学級数・生徒数推移〕

	平成20年度		平成25年度		平成30年度		平成35年度	平成40年度
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	生徒数 (学区内住民数)	生徒数 (学区内住民数)
西武中学校	8	254	8	183	5	160	151	157
野田中学校	11	374	11	348	10	358	340	276

〔平成30年度 学年別学級数・生徒数〕

	1年生		2年生		3年生	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
西武中学校	1	39	2	52	2	69
野田中学校	4	126	3	120	3	112

- 「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」に照らし合わせると西武中学校は適正規模を下回っている



名称	建築年度	築年数
西武小学校	1966	52
仏子小学校	1980	38
西武学童保育室 西武第二学童保育室	2015	3
仏子学童保育室	1996	22

小学校は両校とも
築30年以上経過している

- 2施設ある学童保育室を1施設に統合
- 2校ある小学校を1校に統合し、学童保育室を複合化

3. 公共施設マネジメント事業計画 西武地区 中学校

92

人間市防災マップ ＜西武地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 人間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111

凡 例

記 号	説 明
■	指定避難場所
■	洪水時の避難場所
■	土砂災害時の避難場所
■	地震時の避難場所
■	火災時の避難場所
■	学区の境界線
■	学区長の事務所
■	市民会館
■	支庁
■	消防署・分署
■	消防団本部
■	警察署(交番・駐在所)
■	福祉センター
■	プール・池
■	加圧給水装置
■	避難所
■	集合所
■	避難所
■	土砂災害警戒区域
■	川・湖
■	JR線
■	私鉄線
■	国道路
■	市道
■	主要地方道・市道

児童数

学 校 名	学 生 数	男女別児童数
西武小学校	1,096	男 550 女 546
西武中学校	1,096	男 550 女 546
西武小学校	1,096	男 550 女 546
西武小学校	1,096	男 550 女 546
西武小学校	1,096	男 550 女 546
西武小学校	1,096	男 550 女 546
西武小学校	1,096	男 550 女 546
西武小学校	1,096	男 550 女 546
西武小学校	1,096	男 550 女 546
西武小学校	1,096	男 550 女 546

名称	建築年度	築年数
西武中学校	1969	49
野田中学校	1989	29

西武中学校は
築40年以上
経過している

➤ 2校ある中学校を
1校に統合

〔西武地区 園児数推移〕

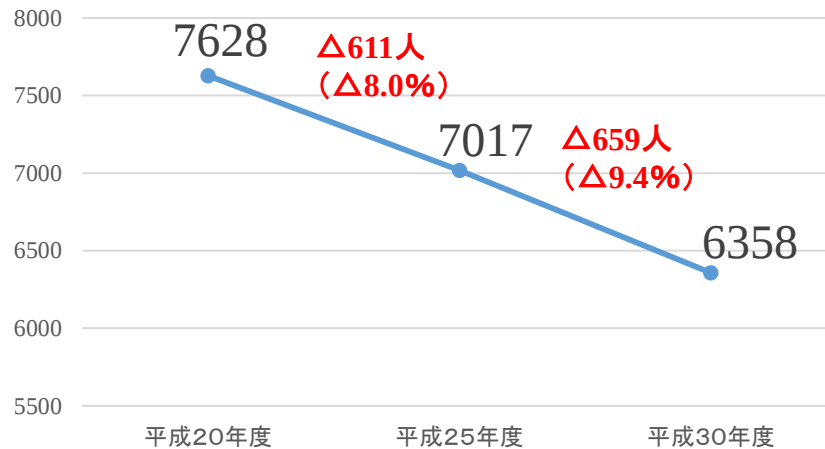
公立保育所	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
西武中央保育所	102	100	85(90)

民間保育園	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
杏ほいくえん	88	102	97(90)

地域型保育施設	平成20年度	平成25年度	平成30年度 (定員)
おひさま保育園※	-	-	11 (10)
夢の森ほのぼの ハニー保育園※	-	-	17 (15)

※地域型保育施設の認可は平成27年度以降

〔入間市 0～5歳児人口推移〕



〔平成30年度 市内保育所等在籍者数〕

種 別	在籍者数
公立保育所	828
民間保育園	1,354
地域型保育施設	76
計	2,258

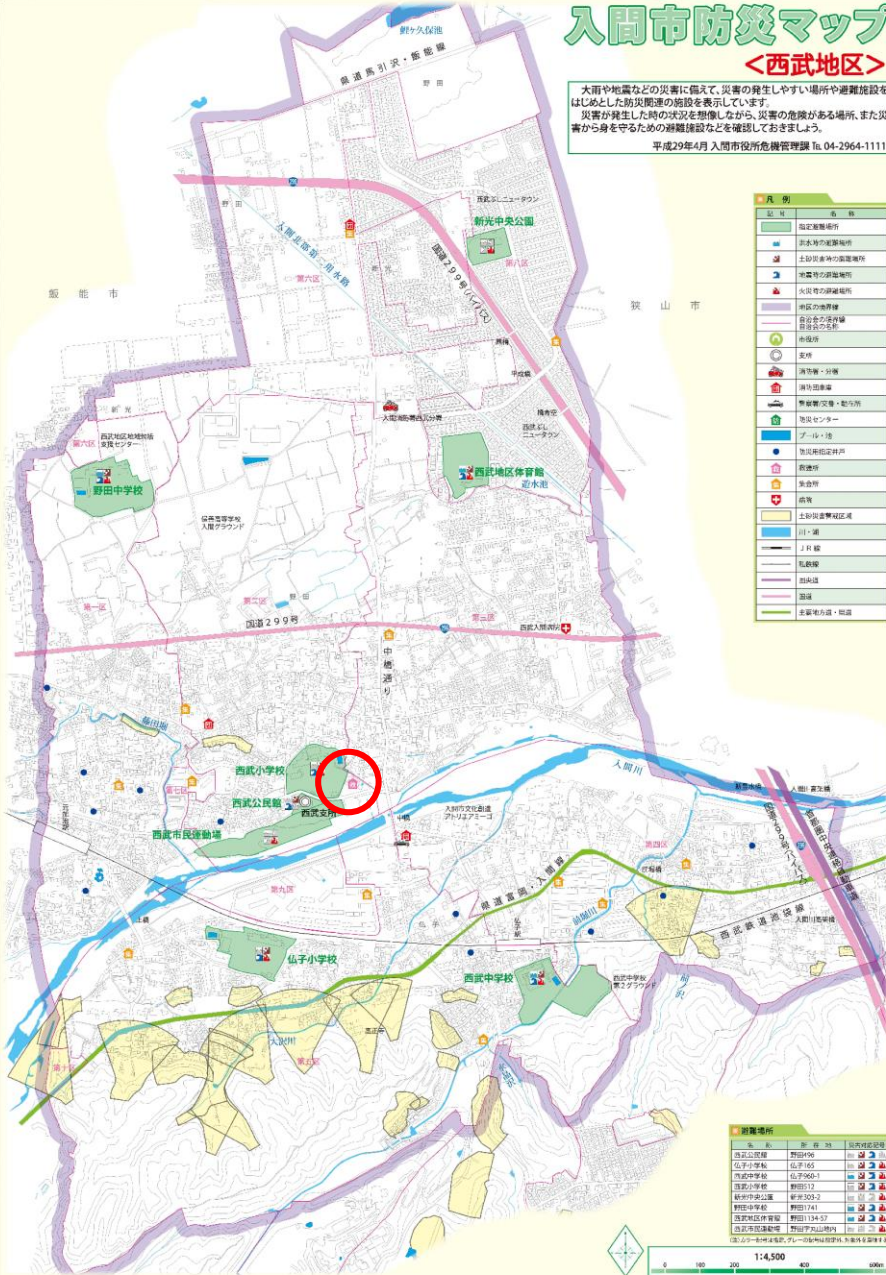
種 別	在籍者数
幼稚園 (平成29年度)	1,963

3. 公共施設マネジメント事業計画 西武地区 公立保育所

94

人間市防災マップ ＜西武地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 人間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
西武中央保育所	1977	41

築40年以上
経過している

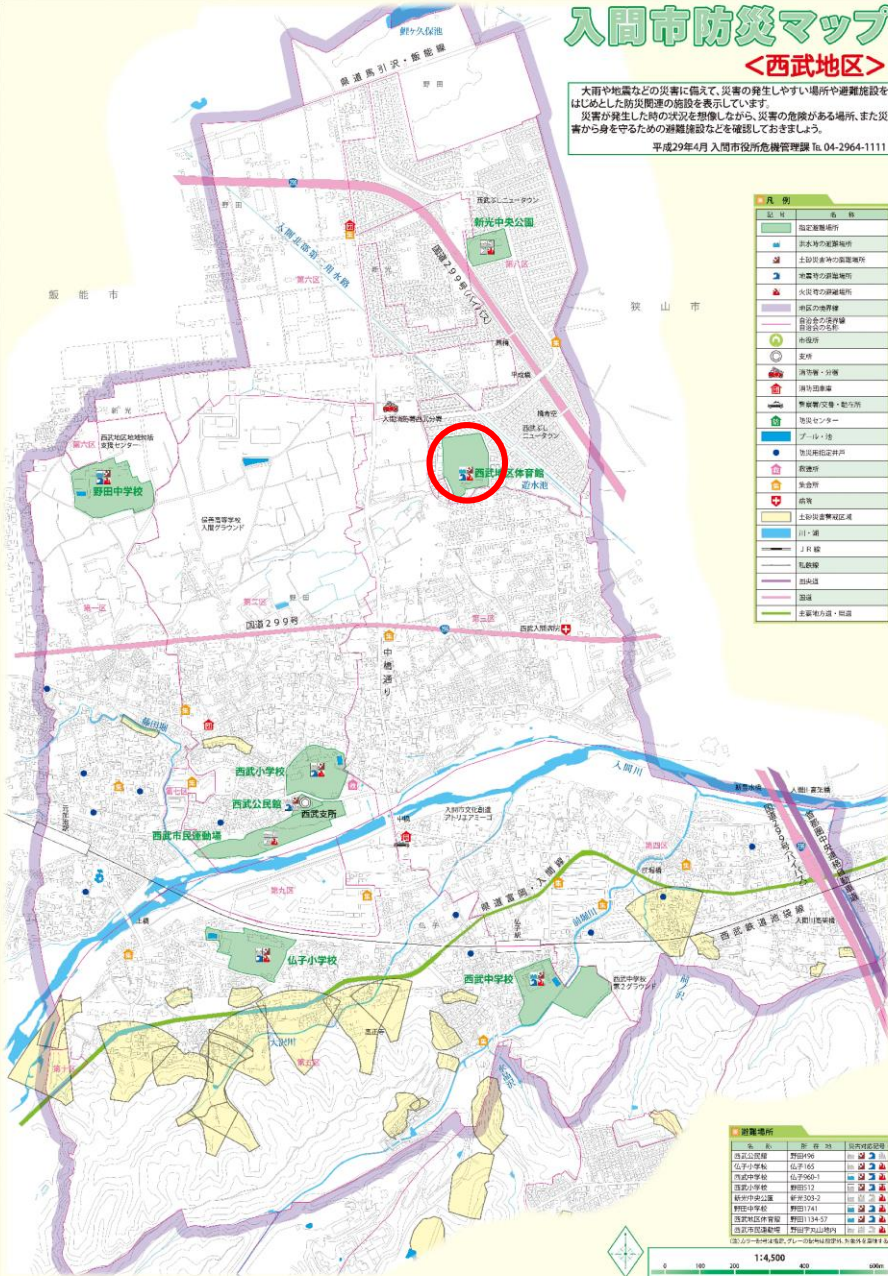
- 継続して維持管理
- 保育所は旧市町村区分である6地区分で配置を検討

3. 公共施設マネジメント事業計画 西武地区 体育館

95

入間市防災マップ ＜西武地区＞

大雨や地震などの災害に備えて、災害の発生しやすい場所や避難施設をはじめとした防災関連の施設を表示しています。
災害が発生した時の状況を想像しながら、災害の危険がある場所、また災害から身を守るための避難施設などを確認しておきましょう。
平成29年4月 入間市役所危機管理課 TEL 04-2964-1111



名称	建築年度	築年数
西武地区体育館	1988	30

築30年以上
経過している

➤ 継続して維持管理

施設名	建築年度	築年数	施設整備の方向性
西武公民館・支所	1981	37	地区センター化
西武小学校	1966	52	1施設に統合、複合化 空いた施設の活用方法を検討
仏子小学校	1980	38	
西武中学校	1969	49	1施設に統合 空いた施設の活用方法を検討
野田中学校	1989	29	
図書館（西武分館）	1992	26	機能を小学校へ複合化 用途の変更を検討
文化創造アトリエ	不明	60年 以上	歴史的建造物としての特性に配慮 した修繕により維持

別紙

地区懇談会における 主な意見について

※地区懇談会

平成29（2017）年7月～10月実施

【メリット】

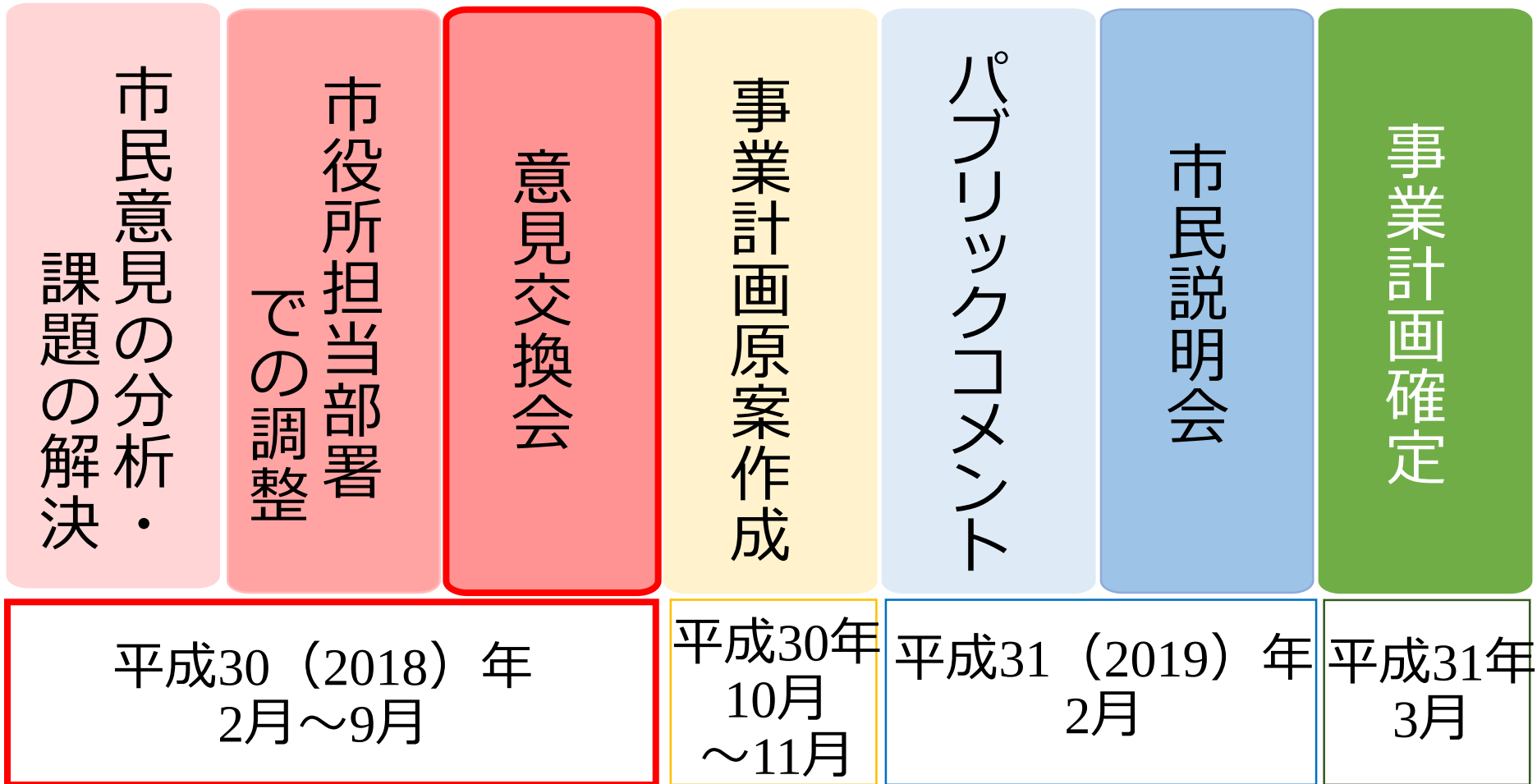
- 新たなサービス提供の可能性の拡大
 - ・地域の拠点施設の整備
 - 地域の幅広い世代の交流の促進
 - 地域ぐるみの子育ての支援の拡大
 - 市民同士の新たな触れ合いの場の創出
 - ⇒地域のコミュニティを元気に！

【デメリット】

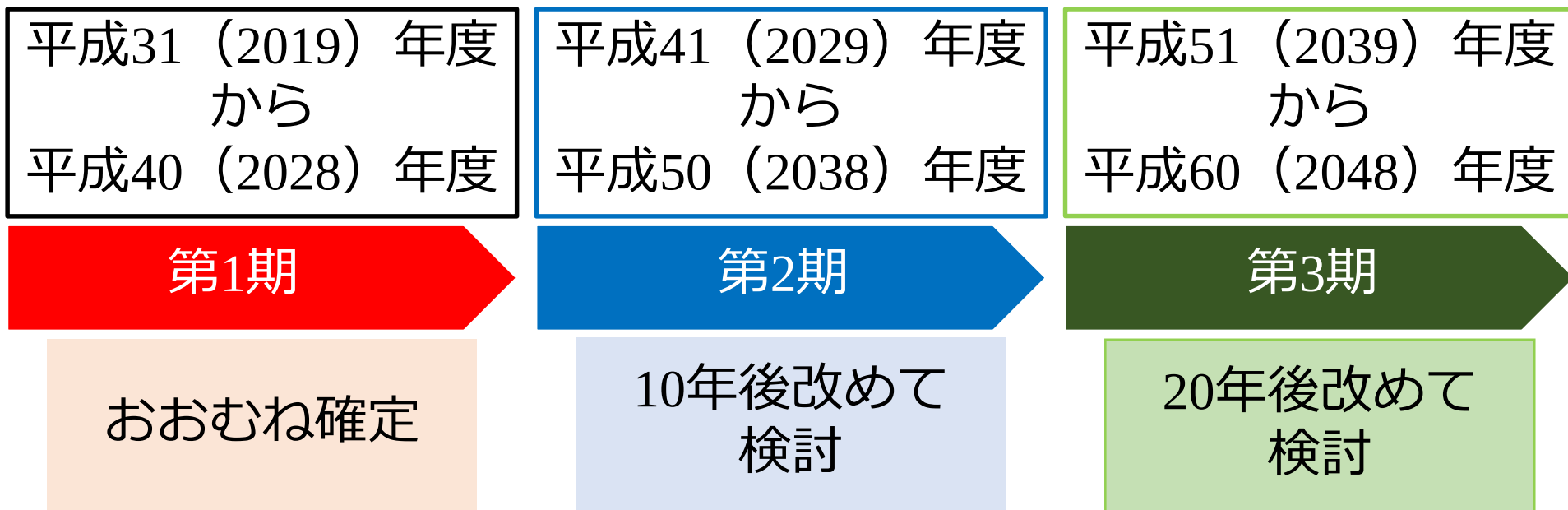
- ・施設までの距離が遠くなる
- ・これまでとは使い勝手が異なる

4. 計画策定のあり方





この計画案は決定したものではなく、市民の皆様からご意見をいただくための「たたき台」となるものです。
今後、ご意見を踏まえてスケジュールに沿って方向性を決めていく予定です。



- この計画は平成31（2019）年から平成60（2048）年までの30年間の計画
- 10年ごとに社会情勢や市民ニーズの変化、実績等を踏まえて見直し